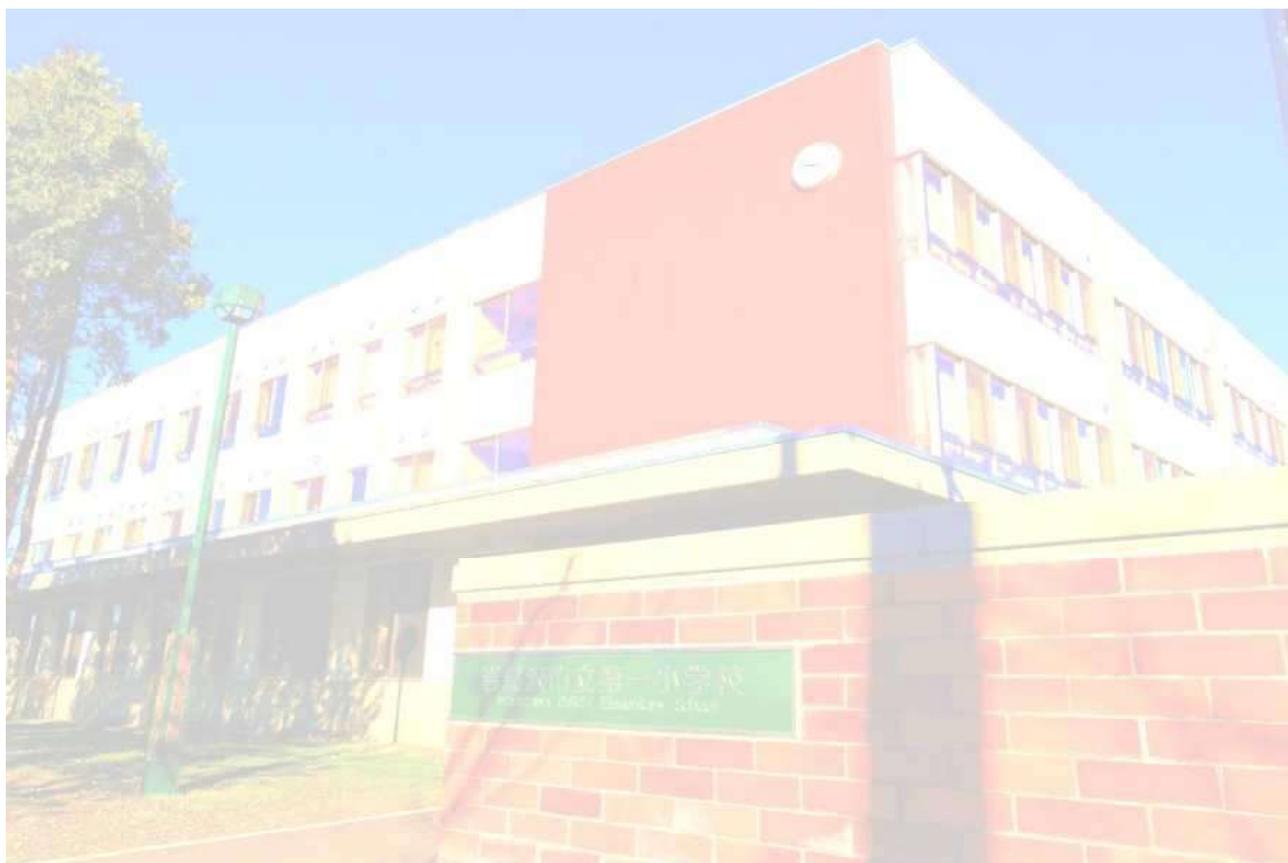


令和7（2025）年度

学校評価・自己評価 報告書



岩見沢市立第一小学校

岩見沢市立第一小学校 概要

令和8（2026）年1月31日現在

学校名	岩見沢市立第一小学校							
学校長	石原 学				教職員数		40	
学年等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
児童数	54	57	62	64	51	59	20	367
住所	岩見沢市緑町3丁目7番1号							
電話	0126-22-0360							
FAX	0126-22-5493							
URL	https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/soshiki/daiichishogakko/1523.html							
Email	daiichis@edu.hamanasu.com							

【回答の状況】

☆児童アンケート

・児童 (335名/369名 91%)

☆保護者アンケート

・保護者 (271回答/286家庭 95%)

☆教職員自己評価アンケート

・教職員 (24名/27名 89%) ※非常勤・会計年度任用職員を除く

I 学校教育目標

令和7年度学校経営方針

【校訓】 あたたかき心の持ち主たれ

■ 第一小学校の教育

憲法・教育基本法・学習指導要領、北海道及び岩見沢市の教育目標・教育方針を踏まえ、前年度までの学校評価・各種調査・アンケート等と職員一人ひとりの気付きを基に職員相互の創意工夫により作成した教育課程を確実に実施していくことをとおして、子どもたちの成長を確実に実現する。

「第一小学校の教育は、子ども理解を基本とする。」

私たちの学校では、子どもを取り巻く様々な環境や背景を含めて子ども一人ひとりを理解することを大切にして、第一小学校の教育を推進していく。

本校は昭和47年(1972年)に開校し、本年度で創立54年目を迎える。

本校校歌に込められる建学の精神は

- 希望や願い、目標をもち、強い心とからだを鍛え育てる学校
- 自然を愛し、自らを律し、友だちと励まし合い成長する学校
- 困難に負けず、先生の教えのもとに、笑顔が溢れる楽しい学校 である。

■ 本校の教育目標

豊かな心と人権尊重の精神を培い、広く国際社会において信頼と尊敬が得られる人間の育成を目指し、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域や社会と連携及び協働し、心身ともに健康で確かな判断力と実践力をもち、道徳性にみちた自主的・主体的に生きる子どもを育てるために、次の目標を設定する。

- 自ら学び考え、行動する子 (学力定着と向上、自らわかる喜びと学ぶ楽しさ)
- 思いやりのある子 (豊かな心、思いやりの心、人と触れ合う心地よさ)
- 体をきたえ、命を大切にする子 (たくましい体、自ら鍛える意欲、心身ともに健やか)
- 地域に誇りをもち、生き抜く力のある子 (心のつながりを大切に)

■ 学校経営の基調

グローバル化や高度情報化の飛躍的進化等、将来の予測がますます難しくなっているが、学校教育においては教育基本法の「教育の目的」を踏まえ、「人格の完成」と、「平和的で民主的な国家および社会の形成者としての資質」を備えた国民の育成が求められている。

このような中、学校教育では、2040年の社会と、さらにその先の社会を見据え、未来社会の担い手となる子ども一人一人の個性の伸長を図り、その可能性を開花させるとともに、子どもたちが変化の激しい社会に主体的に向き合い、自らの資質・能力を最大限に発揮して、自己の実現を図るため、たくましく心豊かに生きていく基盤となる「生きる力」の育成が求められている。

新学習指導要領には、育成すべき資質・能力として

- ① 「生きて働く知識・技能」の習得
- ② 「未知の状況でも対応できる思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③ 「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性」の涵養

があげられていることから、すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた『令和の日本型学校教育』の構築に向け、真摯に向き合っていかなければならない。また、学校においては、コミュニケーション力等これらの育成すべき力を確実に育てるため、社会と連携・協働した教育活動を推進していかなければならない。

同時に、子どもの学力・体力をはじめ、道徳性の基盤となる基本的生活習慣の育成や、安心・安全な学校・地域づくりに向け、今まで以上に家庭・地域との連携を図り、学校・家庭・地域の三者が意図的、計画的にそれぞれの役割を担いつつ、協働していくことが必要である。

このようなことから、児童の実態や保護者・地域の願い・期待、時代の要請等を真摯に受け止め、教育の使命への自覚と責任、誇り、創意工夫と協働意識を基盤とした専門性の高い組織として、ウェルビーイングに向けて人生の根っこを養うために目指す資質・能力を育成する教育活動と、学校を支え、育ててきた地域・保護者に信頼される学校経営を進めていく。

Ⅱ 中期および単年度の具体的目標

■ 目指す姿

(1) 目指す子ども像

- ・自分も人も大切に子ども・自分の考えを持つ子ども
- ・失敗を恐れずチャレンジする子ども
- ・明朗で心身共に健康な子ども

(2) 目指す学校像

- ・安心して過ごせる、温かい学び合いのある学校
- ・子どものよさを認め、伸ばす学校
- ・保護者や地域が信頼を寄せる学校
- ・教職員が専門性を発揮できる働きがいのある学校

(3) 目指す教職員像

- ・温かい笑顔で児童の成長を支え、行動する教職員
- ・専門的な知識と技能の力量を高める教職員
- ・協働を重んじ、組織の一員として積極的に経営参画する教職員
- ・教育公務員としての自覚と責任を持ち、行動する教職員
- ・仕事と生活のバランスのとれた教職員

■ 年度の重点（合い言葉）

前述の基調を踏まえ、小学校教育は「各個人の有する能力を伸ばす」「自立的に生きる基礎を培う」「国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う」ことを目的とする義務教育前期の段階で、それを着実に培い、養うことが求められる。そこには、「変わらない」という安定ではなく、変化に柔軟に対応できるための「安定」が必要となる。その安定は「学びの土台」づくりによって築かれる。

そこで、今年度は、「成果は子どもの姿に表れる」の思いのもと、「学びの土台」づくりを教職員が「自分事」として捉え、子どもの発達の段階に応じて、子どもたちの主体性を生かしながらの取組を年度の重点とする。

【合い言葉】 やさしさ いっぱい たのしさ いっぱい 第一小
～ 学びの土台づくり ～

※「学びの土台」づくり

↓
落ち着いた学習環境（整理整頓、言語環境） 学習ルール（学ぶ雰囲気醸成）、
望ましい人間関係、学級経営＝集団づくり、基礎学力・学習習慣
↓
継続、評価、改善、賞賛、励まし等の地道な取組の積み重ねで築かれ、学校の風土となる。

※「たのしさ」

- わかる・できる楽しさ ・ 集う（繋がる）楽しさ ・ 伸びる楽しさ ・ 挑む楽しさ ・ 動く楽しさ
- 主体的に関わることで見出すことが可能、他者との関係性の中に生み出すことが可能、他者を思いやることで分かち合うことが可能、感性を磨くことで生み出すことが可能。小さな出来事や日々の気づきを大切に、日常の中に見出すことのできる楽しさが本当の幸せに繋がる。

【重点を踏まえた取組の方向性とポイント】

(1) やさしさ いっぱい (豊かな心の育成)

「自分にも人にもやさしくする子」

【温かな雰囲気：子どもの居場所 安心・安全】

ポイントとなる取組

- ① 笑顔であいさつ・温かい言葉遣い
- ② 「話を聞く」姿勢の徹底
- ③ 授業時数特例制度の活用等により、ピア・サポート・道徳・特別活動を関連させた取組

(2) たのしさ いっぱい (確かな学力・健やかな体の育成)

「自分の考えを持つ子・失敗を恐れずチャレンジする子・明朗で心身共に健康な子」

【自己肯定感の向上：㊦「わかる・できる」㊧「集う」㊨「伸びる」㊩「挑む」㊪「動く」楽しさ】

ポイントとなる取組

- ① 「学習ルールの徹底」(最重要:話を「聞く」姿勢(再掲))と「学習スキルの向上」
- ② 基礎・基本を効果的な時期に何度も繰り返し指導
(教科書や、授業時数特例制度の効果的活用等)
- ③ 身につける資質・能力を明確にした子どもとの対話による授業づくり
- ④ ICTのより効果的活用(例 めざす授業のためのタブレット活用等)
- ⑤ 挑戦し、失敗してもあきらめず、やり直し、やり抜く機会の設定と支援の工夫
- ⑥ 仲間と支え合う声かけ活動
- ⑦ カ一杯身体を動かす機会、個別目標の設定と支援の工夫
(例 運動量を確保した体育授業、1校1実践、児童委員会主催の集会等)

(3) 知・徳・体の総合的な育成 ((1)～(2)以外の本校として大切にしている取組)

① 特別支援教育の充実

- ・ユニバーサルデザインの視点に立った環境・指導の充実
- ・個々の教育的ニーズに応じた、高い専門性に基づく適切な指導及び支援の充実
- ・特別支援学級、特別支援教育コーディネーター、特別支援教育支援員等との連携を強化し、複数体制であるメリットを生かした統一感のある指導

② 鉄北地区各校・地域との連携の促進

- ・地域の力を生かしたコミュニティ・エリアの充実
- ・鉄北地区3校との9年間を見通した日常的な連携
- ・外部・地域人材や北海道教育大学岩見沢校との連携を強化し、本物に触れる、専門的な知識・技能に触れる等、体験的な活動の推進

③ 分掌部会・学年部会の充実と、各職種との連携による学校改善

- ・年度途中であっても創意工夫し、よりよい教育活動を目指す職員集団
- ・分掌からの提案には今年度の重点との関連について記載

④ 働き方改革の継続実施

- ・子どもと向き合う時間を大切にしたスクラップ&スモールビルドによる学校運営
- ・超勤時間の可視化と業務の平準化
- ・コアチームの設置と業務改善に係る取組の見直し

学 び の 土 台 づ く り

子ども理解が基本

*落ち着いた学習環境(整理整頓、言語環境) *学習ルール(学ぶ雰囲気の醸成)

*望ましい人間関係

*学級経営=集団づくり

*基礎学力・学習習慣

→ 継続、評価、改善、賞賛、励まし等の地道な取組の積み重ねで築かれ、
学校の風土となる

Ⅲ 各種具体的な計画

■ 年度の重点を踏まえた各部の目標

各部の目標と具体的な取組	
総務部	<p>【目標】子どもが楽しめるような学校の運営を支える</p> <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営全般に係る庶務的な業務を推進する。 ○ 学校評価を計画的に推進し、学校改善に役立てる。 ○ 校舎内外の環境整備、安全管理を計画的に推進する。 ○ 課外活動に対する協力体制を整え、組織的な推進を図る。 ○ 1日入学に向け、関係職員と連携を取り円滑な推進に当たる。 ○ 記録写真の保存と活用、各種史料の保管を行う。
研修部	<p>【目標】教師自身が知りたくなる・やりたくなる・語りたくなる研修を目指す。</p> <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の研究・研習方向性や内容を明らかにし、組織化を図る。 ○ 部会研修や全体研修の年間計画を確立し、円滑に進める。 ○ 課題研究を推進し、本校の教育目標の具現化に努める。
教務部	<p>【目標】学ぶ姿勢を育てる学習規律の定着に向けた組織的取組</p> <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会に開かれた教育課程の編成・実施とカリキュラム・マネジメントに基づいて、活動の改善を図る。 ○ 地域の教育資源を最大限に活用し、地域・保護者と連携することにより教育活動を充実させる。
文化部	<p>【目標】文化的な活動を通して学ぶ楽しさを体験させるとともに豊かな心の育成につとめる。</p> <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創意に満ちた行事を企画立案し、教育活動の充実及び活性化に努める。 ○ 日常と異なった学習の場を設定し、学習意欲の向上を図る。教科、道徳、特別活動、総合的な学習時間を横断的に作用させ、体験的な学習を通して、学習内容の深化・発展を図る。 ○ 学校全体あるいは学年全体の集団行動を通して、望ましい学習集団の育成を図る。
保体部	<p>【目標】児童が自ら進んで取り組む運動や望ましい生活習慣の獲得に向けた指導を通して、継続的な体力向上や健康増進を目指す。</p> <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創意に満ちた内容のものを企画立案し、体育行事の充実及び児童の体力増進、健康や安全に対する態度を育てる。 ○ 自分から進んで遊びや運動に参加し、継続することによって運動技能を高め、体力の増進を図るとともに、健康や安全に対する実践的な態度を育てる。 ○ 健康や運動に対する意欲や関心を培い、自分自身の健康管理ができる子どもを育成する。
生活部	<p>【目標】校内・校外において道徳心をもって自主的・主体的に生きる児童の育成</p> <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集団生活に必要な基本的生活様式を身につけさせ、実践的な態度、表現力を育てる。 ○ 問題行動の予防と早期発見及び事後指導に努め、望ましい人間関係をつくる。 ○ 持ち物やみんなで使う物を大切に作る自発的態度や心得を培う。 ○ 火災、地震、不審者などの生命安全に備え、避難訓練を実施する。 ○ 給食時間は、楽しい会話や放送を聴くことを通して、心のふれあいを図る。

■ 本校における到達数値目標

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率を65%以上
- 標準学力検査(NRT)の学力偏差値を50以上
- 児童質問紙「よいところがある」(自己肯定感)への否定的回答を10%以下
- ハイパーQUテストの学級満足度で満足率70%以上
- 学校評価：児童・保護者アンケート項目すべてで肯定的回答85%以上、A回答を前年度以上
- 不登校児童 増やさない
- 嫌なことを誰かに相談する児童 100%
- 自学学習時間「学年×10分+10分」を80%
- 新体力テストで「(シャトルラン)」を全国平均以上
- 読書を毎週30分以上
- 教職員の時間外勤務 45時間以内/月

■ 経営姿勢

組織は、成長する場であり、状況に応じたしなやかさがなければならない。

- ①日常的な対話などを通じ、教職員の思いに耳を傾ける。
- ②納得解を得て、思いの共有を図る。
- ③全教職員の協働体制により、思いの実現に向け取り組む。

「成果は、子どもの姿に表れる」の思いのもと、目標達成、課題解決に向け、しなやか且つ柔軟に3つの姿勢を持ち、すべての教職員の、理解・納得を得て、学校経営に臨む。

【補足資料(重点と関連する価値項目)】

【合い言葉】 やさしさ いっぱい たのしさ いっぱい 第一小	
	「自分にも人にもやさしくする子」 (確かな学力の育成)
	「自分の考えを持つ子・失敗を恐れずチャレンジする子・明朗で心身共に健康な子」 (確かな学力・健やかな体の育成)
A-5 希望と勇気、 努力と強い意志	(低) 自分のやるべき勉強や仕事をしっかり (中) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜く (高) より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く
B-6 親切、思いやり	(低) 身近にいる人に温かい心で (中) 相手のことを思いやり、進んで (高) 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って
B-8 礼儀	(低) 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心がけて明るく接する (中) 誰に対しても真心をもって接する (高) 時と場をわきまえて、真心をもって接する
C-14 15 16 より良い学校生活、 集団生活の充実	(低) 学級や学校の生活を楽しくする (中) みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくる (高) みんなで協力し合ってよりよい学級や学校を作るとともに、集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める



【校訓】 あたたかき心の持ち主たれ

【学校の教育目標】

- 自ら学び考え、行動する子
- 思いやりのある子
- 体をきたえ、命を大切にする子
- 地域に誇りを持ち、生き抜く力のある子

- ・日本国憲法
- ・学校教育法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領

- ・児童の実態
- ・教育の今日的課題
- ・保護者、地域の願い
- ・教職員の思い

- ・北海道教育の基本理念
- ・空知管内教育推進の重点
- ・岩見沢市教育行政方針
- 「子どもが健やかに学校教育の推進」
- ・岩見沢市学校教育推進の重点

【目指す子ども像】

- ・自分も人も大切にする子ども
- ・自分の考えを持つ子ども
- ・失敗を恐れずチャレンジする子ども
- ・明朗で心身共に健康な子ども

【目指す学校像】

- ・安心して過ごせる、温かい学び合いのある学校
- ・子どものよさを認め、伸ばす学校
- ・保護者や地域から信頼を寄せる学校
- ・教職員が専門性を発揮できる働きがいのある学校

【目指す教職員像】

- ・温かい笑顔で児童の成長を支え、行動する教職員
- ・専門的な知識と技能の力量を高める教職員
- ・協働を重んじ、組織の一員として積極的に経営参画する教職員
- ・教育公務員としての自覚と責任を持ち、行動する教職員
- ・仕事と生活のバランスのとれた教職員

年度の重点

やさしさ いっぱい たのしさ いっぱい 第一小
～ 学びの土台づくり ～

【重点を踏まえた取組の方向性とポイント】

やさしさ いっぱい	たのしさ いっぱい	
豊かな心の育成	確かな学力の育成	健やかな体の育成
自分にも人にもやさしくする子	自分の考えを持つ子	明朗で心身共に健康な子
	失敗を恐れずチャレンジする子	
【温かな雰囲気】 子どもの居場所 安心・安全	【自己肯定感の向上】 「わかる・できる」楽しさ、「集う」楽しさ、「伸びる」楽しさ、「挑む」楽しさ、「動く」楽しさ	
ポイントとなる取組 ○笑顔であいさつ・温かい言葉遣い ○「話を聞く」姿勢の徹底 ○授業時数特別校制度の活用により、ピア・サポート、道徳（重点に係る内容項目）、特別活動を関連させて実施	ポイントとなる取組 ○「学習ルールの徹底」（最重点：話を「聞く」姿勢と「学習スキルの向上」 ○基礎・基本を効果的な時期に何度も繰り返し指導（教科書や、授業時数特別校制度の効果的活用等） ○身につける資質・能力を明確にした子どもとの対話による授業づくり ○ICTのより効果的活用（例 目ざす授業のためのタブレット活用等）	ポイントとなる取組 ○挑戦し、失敗しても諦めず、やり直し、やり抜く機会の設定と支援 ○仲間と支え合う声かけ活動 ○カー一杯身体を動かす機会、個別目標の設定と支援の工夫（例 運動量を確保した体育授業、新体カテストの結果に基づき1校1実践、児童会各委員会主催の集会等）

【知・徳・体の総合的な育成】

【特別支援教育の充実】

- ・UDの視点に立った環境・指導の充実
- ・個々の教育的ニーズに応じた、高い専門性に基づく適切な指導及び支援の充実
- ・特別支援学級、特別支援教育CD、特別支援教育支援員等との連携を強化し、複数体制であるメリットを生かした統一感のある指導

【鉄北地区各校・地域との連携促進】

- ・地域の力を生かしたCAの充実
- ・鉄北地区3校との9年間を見通した日常的な連携
- ・外部・地域人材や北海道教育大学岩見沢校との連携を強化し、本物に触れる、専門的な知識・技能に触れる等、体験的な活動の推進

【分掌・学年部会の充実と、各職種との連携による学校改善】

- ・年度途中であっても創意工夫し、よりよい教育活動を目指す職員集団
- ・今年度の重点との関連についての意識化

【働き方改革の継続実施】

- ・子どもと向き合う時間を大切にしたいスクラップ&スモールビルドによる学校運営
- ・超働時間の可視化と業務の平準化
- ・コアチームの設置と業務改善に係る取組の見直し

学 び の 土 台 づ くり

子ども理解が基本

- *落ち着いた学習環境（整理整頓、言語環境）
- *学習ルール（学ぶ雰囲気醸成）
- *望ましい人間関係
- *学級経営＝集団づくり
- *基礎学力・学習習慣

→ 継続、評価、改善、賞賛、励まし等の地道な取組の積み重ねで築かれ、学校の風土となる

IV アンケート結果、分析と考察

＝始めに＝

鉄北地区学校運営協議会の提案（令和4年度以降）をもとに、学校評価アンケートを実施した。経緯は以下の通り。

■ 令和7年度の取り組み

鉄北地区各学校で実施してきた「学校評価」について、鉄北地区学校運営協議会の意見を受け、同協議会の目標に合わせた4つの共通項目を設定した。

■ 取り組みの趣旨

鉄北地区とともにある学校づくりを目指して、鉄北3校の学校評価に共通項目を設定し、評価・改善を行うことで、学校連携と接続とともに義務教育9年間を見通した教育活動を推進する。

■ 共通項目設定にあたって

- (1) 学校評価も共通項目については、各学校の独自性があり、また、経年変化の把握により改善を図っているため、大きな変更は効果的とはいえない。
- (2) しかしながら、義務教育9年間を見通した教育活動が強く求められており、共通の評価項目を検討して改善を図っていく必要がある。
- (3) 共通項目の検討にあたっては、ふるさと岩見沢のさらなる発展に3校が一丸となって貢献できるよう、岩見沢市の教育行政執行方針を踏まえて設定する。

■ 鉄北地区コミュニティ・エリアにおける「学校評価の共通項目」

▶ 『確かな学力』

- 保護者・教員 「子どもたちは、自分の考えを進んで表現（ノートや発言・挙手）している。」
「子どもたちが、授業中に iPad を積極的に使っている。」
- 児童・生徒 「自分の考えを進んで表現（ノート・発言・挙手）している。」
「授業中に iPad を積極的に使っている。」

▶ 『豊かな心』

- 保護者・教員 「子どもたちは、自分の良さを理解している。」
- 児童・生徒 「自分の良さを理解している。」

▶ 『開かれた学校づくり』

- 保護者・教員 「学校と地域は、協力し合っている。」
- 児童・生徒 「地域のことや近くの学校のことに興味・関心がある。」

■ 評価結果一覧（児童・保護者・教職員）および分析と考察

《 令和7(2025)年度 岩見沢市立第一小学校 学校評価結果一覧 》 ▲=指標(85%未満) ◎=改善(85%以上)

児童回答数335名/369名(91%) 保護者回答数271回答/286家庭(95%) 教職員24名/27名(89%) 単位%

1. 確かな学び(自分の考えを持つ子)						
項目	対象	「はい」	どちらかという 「はい」	どちらかという 「いいえ」	「いいえ」	肯定的回答 の合計
		今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)
授業づくり	・自分の考えを進んで表現(ノート・発言・挙手)している。【鉄北三校共通項目】	児童 45 (45)	42 (45)	10 (8)	3 (2)	87 (90)
	・子ども達は自分の考えを進んで表現(ノート・発言・挙手)している。【鉄北三校共通項目】	保護者 39 (34)	48 (53)	13 (13)	0 (1)	87 (87)
	◎子ども達は自分の考えを進んで表現(ノート・発言・挙手)している。【鉄北三校共通項目】	教職員 38 (15)	58 (73)	4 (12)	0 (0)	◎96 (88)
基礎基本の線り	《考察》教師が一方的に話す講義型の授業から、子ども同士の対話を基盤とした新しい学習スタイルへと、授業方法の転換を進めている教職員の努力の成果がみえ、児童の活発な発言・発表、多様な表現によって構成される、子どもが主体的に学ぶ授業に変化してまいりました。保護者や地域の皆さまとともに、考えや思いを積極的に発信して主体的に学ぶ、新たな時代の授業のあり方について、参観日などで幅広くご覧いただき、ご意見をいただきながら、さらによりよい授業づくりを進めてまいります。					
	・授業では、課題が示されていて、何を学習したのかわかる。	児童 66 (72)	28 (22)	4 (5)	2 (2)	94 (94)
	・まちがえたりつまづいたりしたところは、くり返し練習するなど工夫して学習している。	児童 48 (53)	38 (35)	9 (10)	5 (2)	86 (88)
	・先生たちは、分かりやすい授業に努めている。	保護者 62 (60)	33 (37)	5 (2)	0 (1)	95 (97)
	・コース別学習、TT、少人数指導などの指導方法の工夫や改善に努めている。	教職員 88 (77)	12 (23)	0 (0)	0 (0)	100 (100)
振り返り指導	・学力向上に向けた対策を全校的な課題として取り組んでいる。	教職員 58 (46)	38 (50)	4 (4)	0 (0)	96 (96)
	・教育課程の編成と実施、内容及び時数が適正に管理されている。	教職員 63 (73)	33 (27)	4 (0)	0 (0)	96 (100)
	《考察》「学習課題」や「まとめ」を黒板に書き、学習目標や授業のねらい(何をやるのか、何ができるようにするのか)を子どもたちと共有する授業づくりを進めております。また、授業の中で自分の学びを振り返る時間を設けており、「何が理解でき、どこが分からなかったのかを、一人ひとりの子どもと教員が共有する授業づくり」に努めております。今後も、各学年の基礎となる学習事項をしっかりと身に付けさせるため、反復学習の徹底や個に合わせた指導の工夫・改善に努め、一人ひとりの学力をさらに高められるよう努力してまいります。					
ICTの活用	・授業中にiPadをせっせよく使っている。【鉄北三校共通項目】	児童 64 (72)	28 (22)	6 (4)	2 (2)	92 (94)
	・子どもたちが、授業中に積極的にiPadを使っている。【鉄北三校共通項目】	保護者 63 (62)	31 (31)	5 (4)	1 (3)	94 (93)
	◎子どもたちは、授業中、積極的にiPadを使っている。【鉄北三校共通項目】	教職員 83 (65)	17 (31)	0 (4)	0 (0)	◎100 (96)
自学	《考察》デジタル端末の活用は進んでいますが、単に使いこなすだけではなく、授業のねらいを達成するための効果的な活用や、一人ひとりの主体的な学びを深め、学ぶ力を高めるための活用が、今後の課題です。これからも、効果的な活用方法(授業の目的や育てたい力に合わせた活用)を考える教員研修を進め、デジタル端末を活用することで、一人ひとりの学びをさらに深めることができる授業づくりを目指してまいります。					
	▲家での学習を、自分から進んでしている。	児童 49 (52)	31 (32)	12 (12)	7 (4)	▲80 (84)
	▲子どもたちは、家庭で学習する習慣を身につけている。	保護者 33 (34)	42 (44)	19 (18)	6 (4)	▲75 (78)
《考察》本校では、「課題発見力」や「計画性」、「自ら考える力」、「目標に向かって努力する力」を身に付けさせ、将来の自立した学びにつなげるための「自学」(家庭学習)に全校で取り組んでいます。「興味・関心に応じたやりたい学び」(自学)と「身に付けなければならない学び」(宿題)が両立するよう、デジタル端末(AIドリル)の利用を含め、個の力を伸ばす家庭学習のあり方について検討を進めてまいります。また、授業と家庭学習を強く関連づけるなどして、みんなが自学に取り組めるよう支援してまいります。						
2. 豊かな心(自分にも人にもやさしくする子)						
項目	対象	「はい」	どちらかという 「はい」	どちらかという 「いいえ」	「いいえ」	肯定的回答 の合計
		今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)
自己肯定感	▲自分の良さを理解している。【鉄北三校共通項目】	児童 44 (46)	32 (31)	17 (12)	7 (10)	▲76 (77)
	◎子どもたちは、自分の良さを理解している。【鉄北三校共通項目】	保護者 28 (26)	58 (56)	12 (17)	1 (2)	◎86 (82)
	▲子どもたちは、自分の良さを理解している。【鉄北三校共通項目】	教職員 21 (8)	58 (73)	21 (19)	0 (0)	▲79 (81)
やさしさいっぱい	《考察》子どもは、自分の良い行いや言葉が認められることで、自信をもち、意欲的に取り組むようになります。①行動のよさ②頑張りのよさ③言葉遣いのよさの3つの視点で良さを言語化したり、承認したりする活動をこれからも進めます。また、「岩見沢型ピア・サポート」(安心・つながり・絆を生み出し、思いやりのある学習集団づくり)の取組を今後も充実させ、一人ひとりの良さが生きる学級集団の育成を目指してまいります。ご家庭でも結果だけではなく、努力する過程にも着目していただき、今後もお子さんの頑張りを温かく見守り、励ましていただけますと幸いです。					
	・委員会や係・そうじでは、自分の仕事を最後までがんばっている。	児童 78 (81)	18 (19)	2 (1)	1 (0)	96 (100)
	・児童会活動(たてわり活動)を自主的にできるように学校全体で支援している。	教職員 75 (77)	21 (23)	4 (0)	0 (0)	96 (100)
	・友達ときょうかして、いろいろな活動をしている。	児童 71 (69)	24 (29)	5 (2)	1 (1)	95 (98)
	・学校行事が児童にとって魅力ある活動になるよう工夫や改善を行っている。	教職員 83 (81)	17 (19)	0 (0)	0 (0)	100 (100)
	・相手を思いやり、やさしく接している。	児童 66 (61)	28 (34)	5 (5)	2 (0)	94 (95)
	・子どもたちは、相手の気持ちを考えて行動している。	保護者 34 (32)	52 (51)	11 (14)	3 (3)	◎86 (83)
	・人権について、学級活動などで取り上げて指導している。	教職員 38 (23)	62 (62)	0 (15)	0 (0)	100 (85)
	《考察》今年度から文部科学省の授業時数特例校制度を活用し、仲間同士が支え合うことを目的とした「岩見沢型ピア・サポート」を学ぶ時間をさらに各学年10時間増やし、親和的・支持的な学習集団づくりを進めてきました。この学習をとおして、お互いを理解して支え合い、手伝い合う姿が増えました。ただ一方で、親しみが行き過ぎてやや心配な言葉づかいが見られることもあります。今後も、社会で生きて働く力の育成を目指し、状況や相手に合わせたふさわしい言葉づかいと思いやりのある適切な行動が身につくよう、共感、協力、協働の仲間づくりをさらに進めてまいります。					
	・気持ちのよいあいさつを進んでしている。	児童 64 (63)	27 (28)	6 (7)	2 (2)	91 (91)
・子どもたちは、進んであいさつをしている。	保護者 47 (43)	39 (45)	12 (11)	2 (1)	86 (88)	
・進んであいさつができるように学校全体で取り組んでいる。	教職員 58 (62)	38 (31)	4 (8)	0 (0)	96 (93)	
《考察》昨年度に引き続き、児童の9割以上が「進んであいさつをしている」と考えており、児童会による熱心な「朝のあいさつ運動」の取組と、PTAや地域の皆様の街頭指導の成果と考えています。挨拶と笑顔の輪が地域にも広がり、つながりが深まるよう、今後も、コミュニケーションの大切さや礼儀についての指導をさらに充実させてまいります。また、保護者や地域の皆様には、引き続き、本校児童に対し、温かく積極的なお声がけをいただければ幸いです。						

きまり	・きまりや約束事を守ろうと努力している。	児童	69 (68)	26 (26)	3 (6)	2 (1)	95 (94)
	・子どもたちは、きまりや約束を守ろうとしている。	保護者	41 (40)	52 (52)	5 (6)	2 (2)	93 (92)
	・生活指導において、家庭や関係機関との緊密な連携ができています。	教職員	58 (62)	33 (27)	8 (12)	0 (0)	91 (89)
<p>《考察》昨年度に引き続き、肯定的な評価が多くなりました。学校では、「何故このきまりがあるのか」を考えさせながら、ルールを身につけさせる指導を行っています。これからは、集団と社会生活におけるルールとマナー、公衆道徳、規範意識の向上を目指してまいります。また、好ましくない行為は、その場で温かくしっかりと指導していただくことで、子ども達はルールを学び、成長することができます。今後も、子どもたちを見守っていただき、必要な時には声をかけていただけますようお願い申し上げます。地域の力を合わせて、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。</p>							

3. 健やかな体の育成（明朗で心身ともに健康な子）

項目	対象	「はい」	どちらかというと「はい」	どちらかというと「いいえ」	「いいえ」	肯定的回答の合計	
		今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)
体力づくり	・体を動かす遊びや、運動を楽しんでいる。	児童	71 (74)	21 (17)	6 (6)	2 (2)	92 (91)
	・子どもたちは、進んで体力の増進に取り組んでいる。	保護者	68 (61)	23 (31)	7 (7)	2 (0)	91 (92)
	◎体力向上に向けた対策を全校的な課題として取り組んでいる。	教職員	50 (50)	50 (42)	0 (8)	0 (0)	◎100 (92)
<p>《考察》いずれの項目も肯定的な回答が多く、取組の成果と受け止めています。本校では、「縄跳び」や「マラソン記録会」などの特設活動に加え、児童会主催のスポーツレクや休み時間の縄跳びコーナー、ダブルダッチ活動、教員も一緒に参加したボール遊びや鬼遊びなど、児童が日常的に運動に親しむことができるよう、多様な活動を行っています。今後も「体を動かす楽しさ」が実感できる授業をめざし、十分な運動量を確保できるよう授業展開を工夫するなどして、体育科の授業を充実させてまいります。また、ご家庭でも取り組んでいただける体力づくりの方法についても検討を進めてまいります。</p>							
生活習慣づくり	・早ね早起き、手洗い・うがいなどをきちんとしている。	児童	47 (52)	41 (36)	8 (10)	4 (2)	88 (88)
	・子どもたちは、健康的で正しい生活習慣を身につけている。	保護者	39 (49)	47 (39)	12 (10)	1 (2)	86 (88)
	・子どもの心身の状態について日常的に情報交換できる体制になっている。	教職員	71 (69)	29 (31)	0 (0)	0 (0)	100 (100)
<p>《考察》家庭科や体育科、学活の授業では、健康や生活に関する学習を行い、望ましい生活習慣や衛生習慣を身につけさせるための指導をしており、それらの学びが日常生活に生かされるよう、今後も、懇談会などを活用し、保護者の皆様とさらに連携しながら、取組みを進めてまいります。お子さんの成長・発達に合わせた望ましい生活習慣を育てるため、十分な睡眠とバランスの良い食事が取れるよう、今後も、ご家庭での御理解と御支援をお願いいたします。</p>							
安全教育	・安全に気をつけて遊んだり、行動したりしている。	児童	74 (81)	21 (16)	3 (3)	2 (0)	95 (97)
	・子どもたちは、安全に留意して遊び、行動している。	保護者	46 (39)	47 (55)	6 (4)	1 (1)	93 (94)
	・教職員やPTA等と協力し、安全指導やパトロールを日常的に実施している。	教職員	54 (23)	42 (69)	4 (8)	0 (0)	96 (92)
<p>《考察》いずれの項目も肯定的な回答が多くなりました。PTAの皆様による危険箇所点検や街頭指導、さらには町内会の皆様による交通安全の見守り活動等により、多くの地域の皆様に児童を見守りいただいていることにあらためて感謝申し上げます。学校でも、生活・交通・災害の三つの視点から、日常的に具体的な場面に応じて安全指導を行い、状況にあわせ、適切に命と体を守る行動ができる力の育成に努めています。今後も、安全指導計画に基づき、子ども自身が、危険を理解し、リスクを予測して危機を避け、自らの命を自分で守る力を身につけることを目指してまいります。</p>							

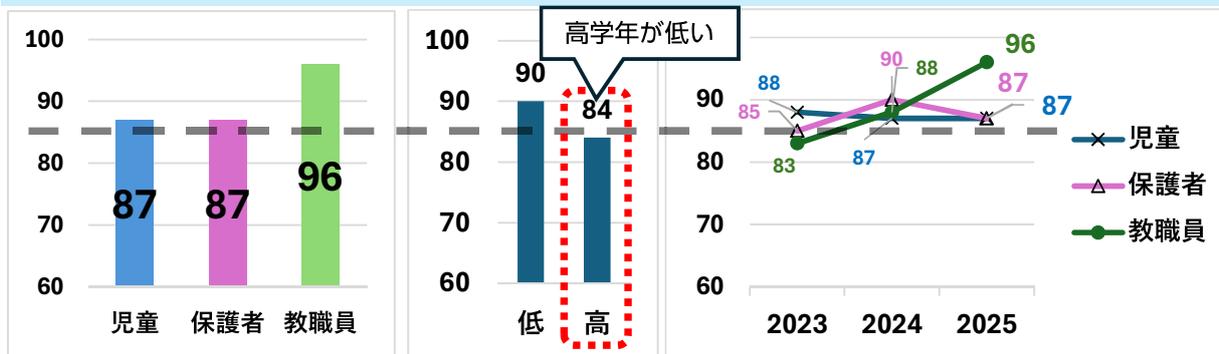
4. その他（本校で大切にしている取組や地域との連携）

項目	対象	「はい」	どちらかというと「はい」	どちらかというと「いいえ」	「いいえ」	肯定的回答の合計	
		今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)	今年度 (前年度)
キャリア教育	・しょう来の夢や、やりたいことがある。	児童	78 (77)	11 (12)	6 (6)	6 (4)	89 (89)
	▲将来の夢ややりたいことについて、話題にしている。	保護者	38 (39)	40 (39)	18 (17)	4 (4)	▲78 (78)
	・将来の職業に関心を持たせ、各学年に応じた指導を行っている。	教職員	29 (23)	63 (62)	8 (15)	0 (0)	◎92 (85)
<p>《考察》子ども自身が、今の学びが将来どのように活かされるのかや、自分の夢や目標を実現するために「何を学び、どう行動するか」、考える力を身に付けることが大切です。このため、学校では、将来の職業選択や社会生活に向けて自分の強みや興味を理解し、必要な力を育むための、「キャリア教育」を行っています。今後も、地域で働く皆様や保護者の皆様との連携をさらに強化し、キャリア教育を充実させていきます。「なぜ学ぶのか」「何のために学ぶのか」、ご家庭と一体となって、子どもたちが社会や職業で自立するために必要な能力や態度を育ててまいります。</p>							
情報モラル	▲家では、ゲームやインターネットの使い方についてルールを決めている。	児童	55 (61)	25 (21)	10 (11)	11 (8)	▲80 (82)
	・御家庭で、ゲームやインターネットの使い方についてルールを決めている。	保護者	51 (48)	35 (36)	12 (14)	2 (3)	◎86 (84)
	<p>《考察》SNSにおけるトラブルが急増しており、予期しない事件や事故に巻き込まれる危険性が高まっています。このため、学校では、今後も、外部講師を招いた授業を参観日に公開するなどして、情報モラルについて御家庭との共有を図ってまいります。スマートフォンやパソコン、ゲーム機などを使う際には、御家庭でルールを作ったり、フィルターを設定したりするなどし、利用状況をこまめに確認することが大切です。SNSやスマートフォン、インターネットの利用は、御家庭の責任のもと、お子様がSNSやスマートフォンを安全に使用できるよう、十分御指導をいただきますようお願いいたします。</p>						
コミュニティ・エリア	▲地いきのことや近くの学校のことにきょう味・関心がある。【鉄北三校共通項目】	児童	50 (51)	24 (28)	14 (13)	12 (7)	▲74 (79)
	・学校と地域は協力し合っている。【鉄北三校共通項目】	保護者	51 (27)	35 (60)	12 (11)	2 (2)	86 (87)
	・学校と地域は協力し合っている。【鉄北三校共通項目】	教職員	38 (42)	62 (50)	0 (8)	0 (0)	100 (92)
<p>《考察》保護者の皆様の値は指標(85%)に達したものの、児童は指標に達しませんでした。本校では、これまでの鉄北地区の児童生徒間交流や産業施設や地域人材を生かした学習に加え、今年度から地域清掃活動や運動会に地域種目を取り入れるなど、地域での学びを充実させる取組を強化しております。これからも、児童も地域の一人として地域参画する教育の充実を努めてまいります。また、「地域とともに歩む」学校を目指し、鉄北地区緑中学校区学校運営協議会や小中接続推進委員会などの関係団体と連携し、学校と地域が協働する教育活動の検討を進めてまいります。</p>							
地域連携	・学校は、学校便りなどを通して、教育の情報や子ども達の様子をわかりやすく伝えている。	保護者	65 (56)	29 (36)	6 (7)	0 (1)	94 (92)
	・学校は保護者との連絡や意思疎通を積極的に行っている。	教職員	79 (73)	21 (27)	0 (0)	0 (0)	100 (100)
	<p>《考察》学校では新たな欠席連絡ツール「tetoru」(テトル)を導入し、保護者の皆様との連携の充実と、積極的な情報発信に努めてまいりました。今後も、個人情報保護等に留意しながら、学校と御家庭、地域との連携がさらに深まるよう、「学校(学年・学級)だより」や「メール配信」「電話」など、伝達方法の特性を考慮しながら、わかりやすく、迅速に、きめ細かな情報をお届けできるよう努めてまいります。</p>						

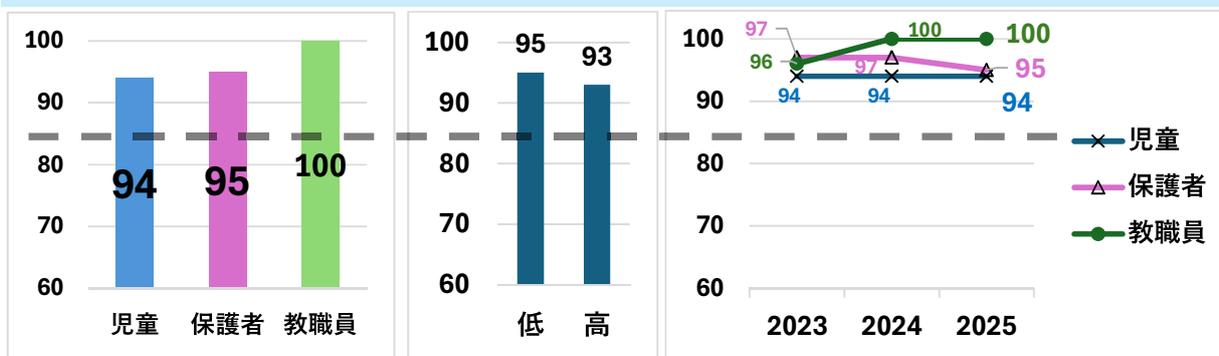
V 資料（3年間の比較・保護者意見記述）

《 確かな学び（学習・授業・自学） 》

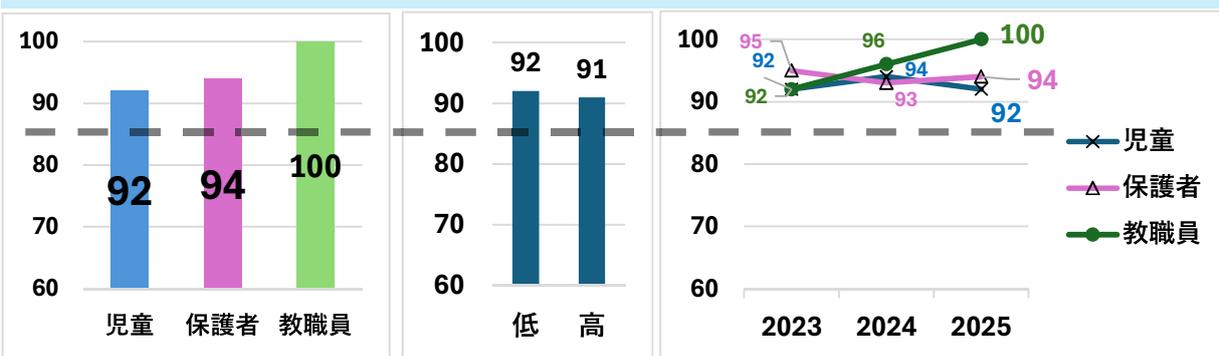
（1）自分の考えを進んで表現（ノート・発言・挙手）している。



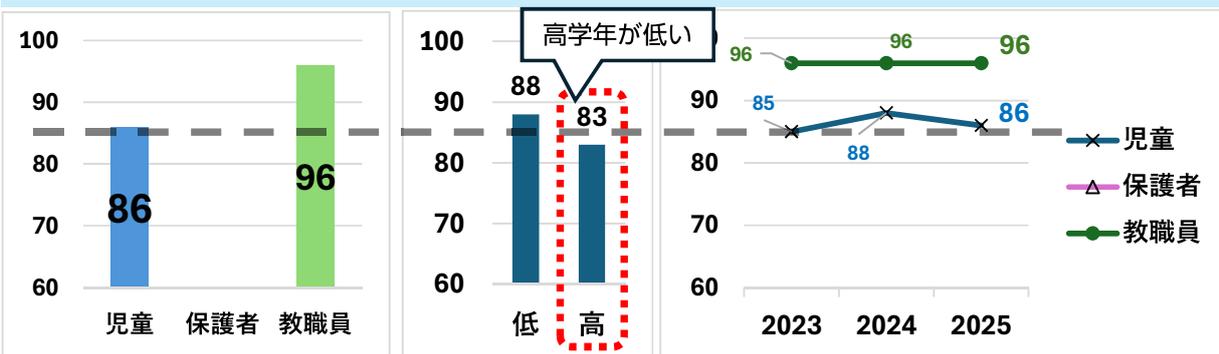
成果（2）授業では、課題が示されていて、何を学習したのかわかる。



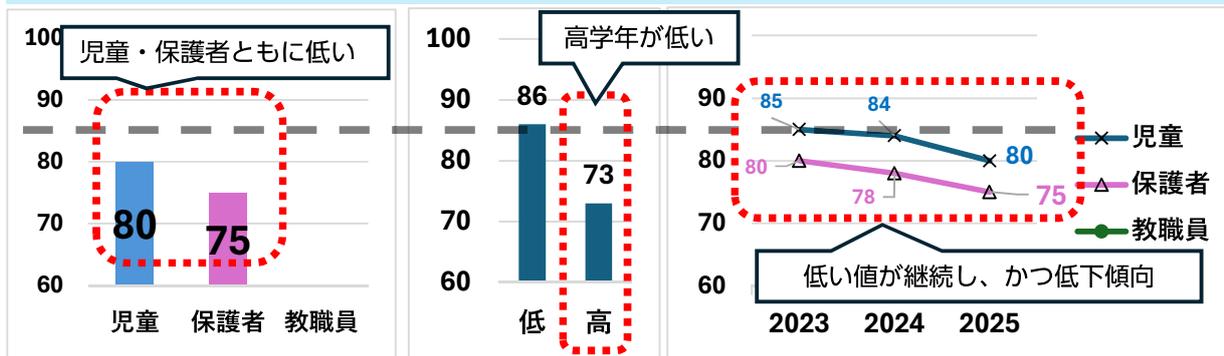
成果（3）授業中にiPadをせっきよく的に使っている。



（4）まちがえたり、つまずいたりしたところは、くり返し練習するなど工夫して学習している。



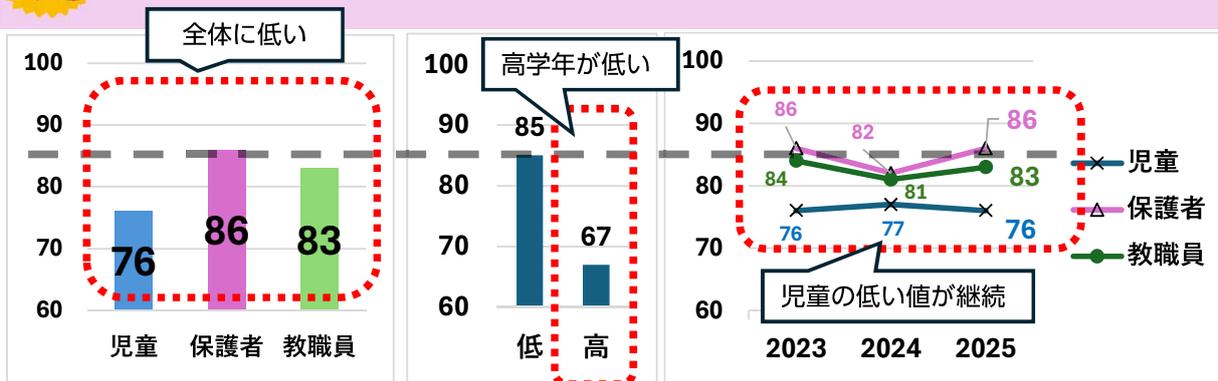
課題(5) 家での学習を、自分から進んでしている。



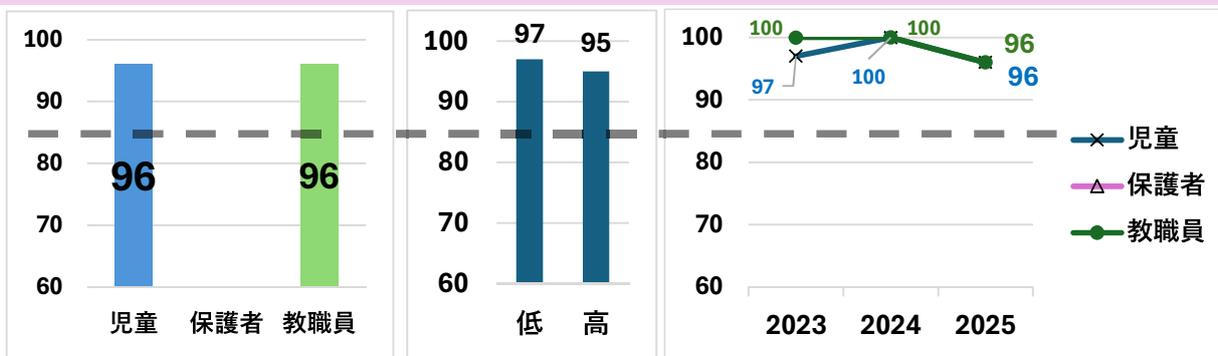
●分析	<p>(児)：▶「自学(家庭学習)」をのぞき、多くの項目で指標(85%)を超えているが、「発言・発表」と「反復練習」では、高学年の値が低いことに留意する必要がある。▶また、「自学(家庭学習)」の肯定的回答は、連続した低下傾向にあるほか、低学年と高学年の回答の差が大きく、低学年時の頑張りが高学年につなげることが十分にできていないと思われる。▶高学年になるにつれて未定着の部分が増え、自学に取り組むことが難しい児童も増えているのではないかと。▶また「反復練習」も含めて、「自学」の取組や指導について、改善を要する。</p> <p>(保)：▶学校での学習指導(授業づくり)については、保護者から一定の評価を得ていると考える。▶一方、家庭学習の項目については低下傾向にあり、毎年、保護者の自由記述にも改善を望む声が寄せられていることから、改善を要すると考える。</p>
▲改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 児童や家庭の実態、保護者の要望に合わせた「自学」(家庭学習)の取組は、工夫・改善が必要。 基礎・基本となる学習事項は、繰り返し学ぶことで定着させたい。すべてを自学に任せるのではなく、興味関心に合わせた幅広い学習も大切にして、学年の基礎となる事項が繰り返し学べるよう、「やりたい学び」と「身に付けなければならない学び」～自学と宿題の両立～が必要。特に高学年は、個に応じた学び(量・質・課題・興味)を支える必要がある。 学校での学びが家庭でも持続するよう授業と家庭学習を往還させる学びのサイクル化について検討を進め、デジタル端末の活用も含めた、家庭と一体となった学びに向かう力の育成が急務。 高学年では、多様な方法で表現する経験をつませ、自己表現の幅を広げたい。
■改善策のアイデア(案)・具体的な取組(案)	<p>・自学について見直しを図る時期かもしれない。・児童または保護者、そして先生にとって「取り組みやすいもの」「無理なく続けられるもの」を学校主導で進めていってはどうか。・どの先生、どの学級でも同じ熱量で進められるような形式を学力向上委員会を中心に提案してみてもどうか。■自学の内容を示す。■『自学カレンダー』で一週間の学習状況を「見える化」する。■宿題(プリントなど)の頻度を増やす。■デジタルドリルの積極的活用。ミライシードで自分にあった課題をやる。■週末iPad持ち帰りの推奨。□強化週間のチェック欄に「保護者のコメント」欄を設けてもよいのでは。</p>

《 豊かな心（生徒指導・岩見沢型ピア・サポート） 》

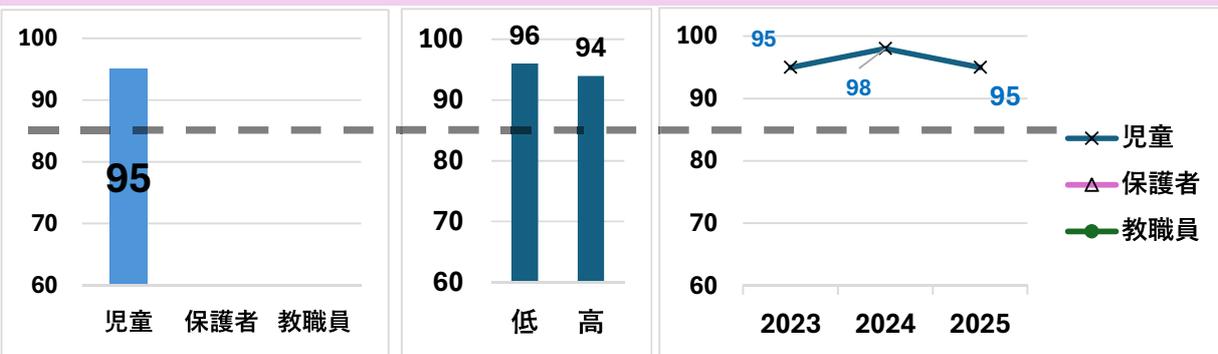
課題（6）自分の良さを理解している。



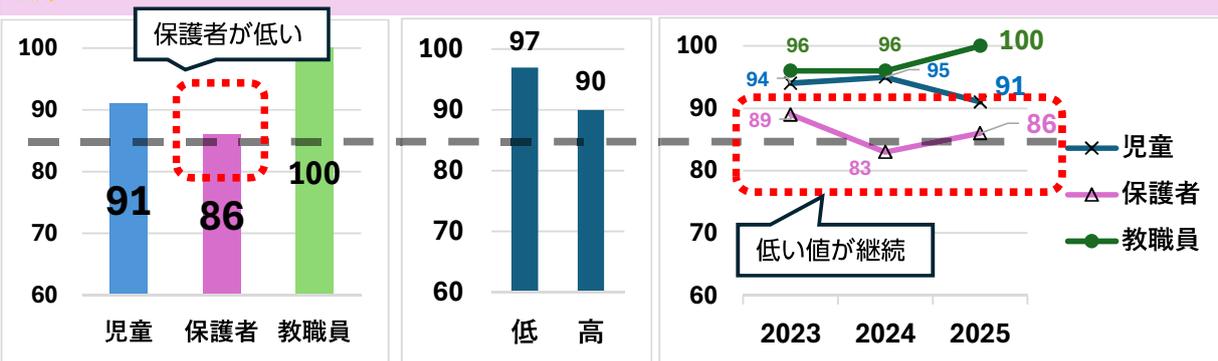
（7）委員会や係・そうじでは、自分の仕事を最後までがんばっている。



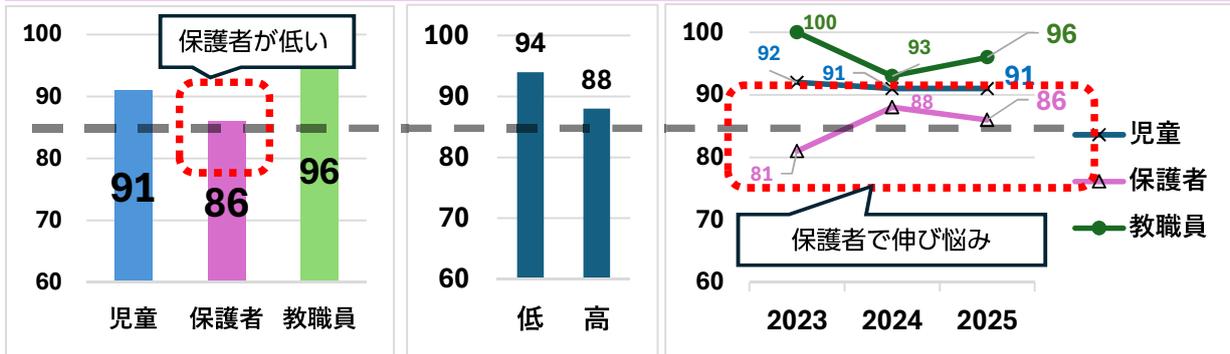
（8）友達ときょう力して、いろいろな活動をしている。



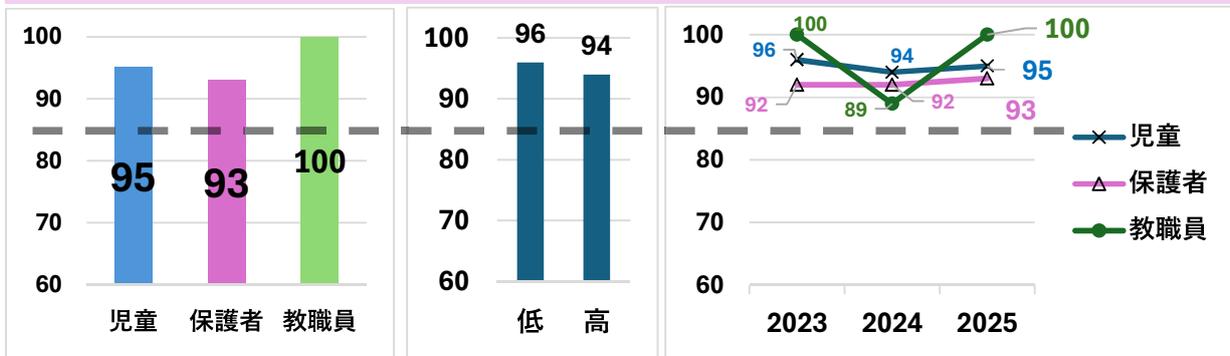
課題（9）相手を思いやり、やさしく接している。



課題(10) 気持ちのよいあいさつを進んでしている。



(11) きまりや約束事を守ろうと努力している。



●分析

(児)：▶「自分の良さ(自己肯定感)」の項目には、指標(85%)に達した。▶「あいさつ」は児童会の日常的な取組、「やさしさ」は岩見沢型ピア・サポートの取組の成果ととらえる。▶一方、「自分の良さ(自己肯定感)」に関する項目は、三者(児童・保護者・教職員)ともに低い値が続いており、とりわけ高学年が低い(67%)。

(保)：▶保護者は、すべての項目で指標(85%)に達している。▶「あいさつ」「気持ちを考えて行動する」「自分の良さ」で改善傾向が見られる。▶ただし、「あいさつ」「気持ちを考えて行動する」は、児童、教職員に比べて、保護者の値が低い。▶児童の頑張りが浸透していないか、または、不十分さを感じている可能性がある。▶また、「自分の良さ」の項目については、保護者と児童の意識の差が大きいことに留意する必要がある。

▲改善の方向性

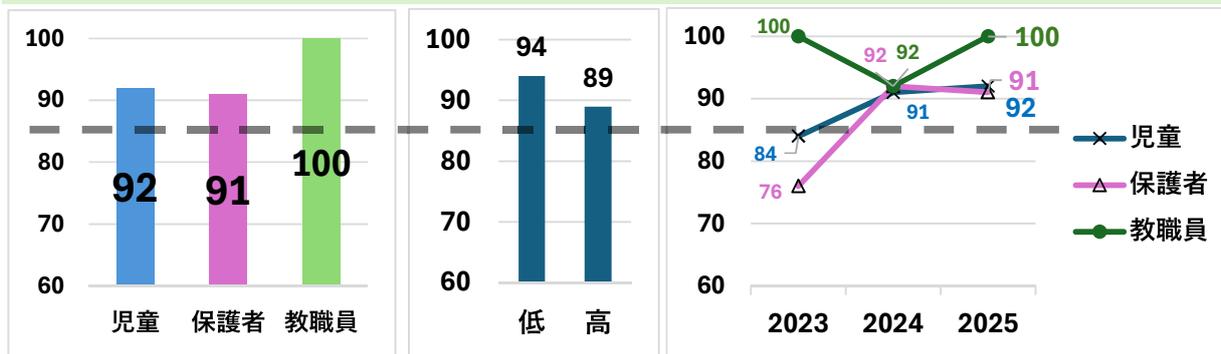
- ・生活全般に、「ウェルビーイング」を高める授業づくりや活動について、検討を進めていく必要がある。
- ・「挨拶」と「やさしさ・思いやり」の輪を、地域にも広げ、地域で生きる子どもたちを育てていきたい。
- ・人と違ってよく、ありのままの自分を受け止め、認め、自分に自信をもてる自己表現ができる機会づくり(自己解析力・メタ認知が重要)と、挑戦するよさを感じさせる取組の検討。▶3つの視点(①行動の良さ②頑張りの良さ③言葉の良さ)で、日常的に自己の成長を言語化する取組の充実を検討(毎日1回1教科は必ず「授業の振り返り」をするなど)。

■改善策のアイデア(案)・具体的な取組(案)

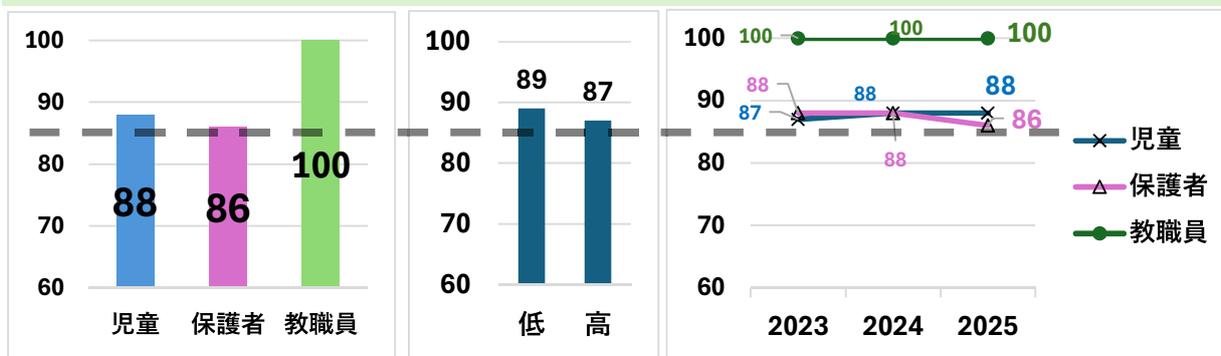
・児童会の挨拶運動などの取り組みは保護者に見えていないのでは。・家庭では挨拶をしないのでは。■参観日の昼休みなどに挨拶運動をしてみる。■参観日の保護者、来客者への積極的な挨拶の指導。■保護者へ家庭での挨拶について啓蒙する。■先生方も月1や週1など、順番に玄関前や玄関外に立って、児童への挨拶をする取り組み。■PTA業務の中に「挨拶運動」を入れて、保護者にも朝、街頭や玄関前に立ってもらい挨拶をしてもらう取り組みをする。□校内でも挨拶をしない(できない)子が増えてきているのでは。今一度、指導・見直しをしていくとよい。

《 健やかな体（運動習慣・健康安全） 》

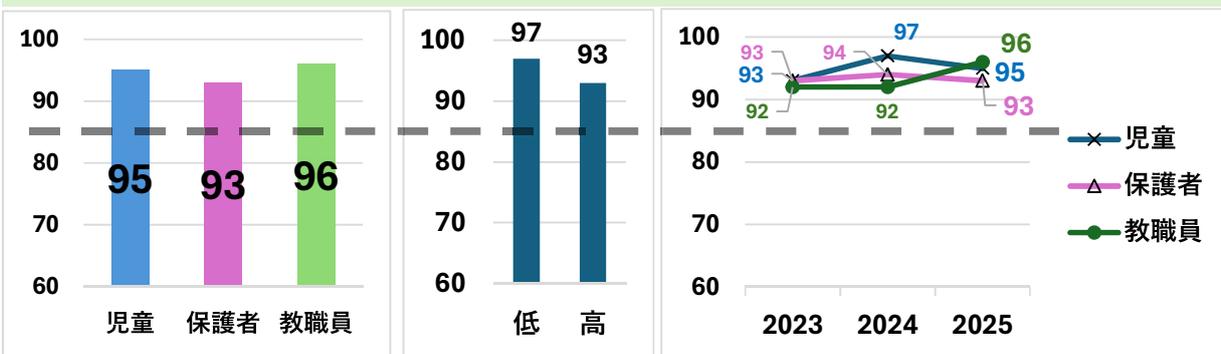
成果（12）体を動かす遊びや、運動を楽しんでいる。



（13）早ね早おき、手洗い・うがいなどをきちんとしている。



成果（14）安全に気をつけて遊んだり、行動したりしている。



●分析

（全）：▶すべての項目で、児童、保護者、教職員が、指標（85%）に達した。▶マラソン記録会やなわとびの実践、休み時間の教員も一緒になった運動あそびや鉄棒あそび、ダブルダッチ等の運動に親しむ取組、長期休業中の生活表の取組などが、肯定的に評価されていると考えられる。▶（14）の安全指導については、「守れない」と回答する児童へのアプローチが必要ではないか。

▲改善の方向性

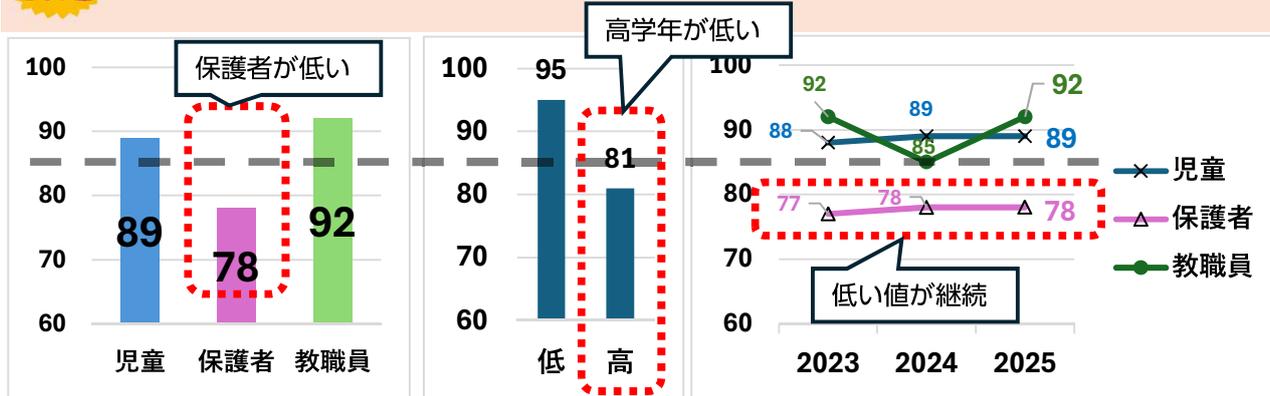
・今後も継続するよう、家庭と一体となった、「体力づくり」と「生活習慣づくり」、「安全指導」の強化を目指す。
 ・校内のルールについては、児童会や生活委員会または、学級の話し合い活動（学級会）などで、みんなで話し合い、より良い集団生活に向かう力を育てる取組を。（※特別活動の（1）学級や学校生活における生活づくりへの参画）

■改善策のアイデア（案）・具体的な取組（案）

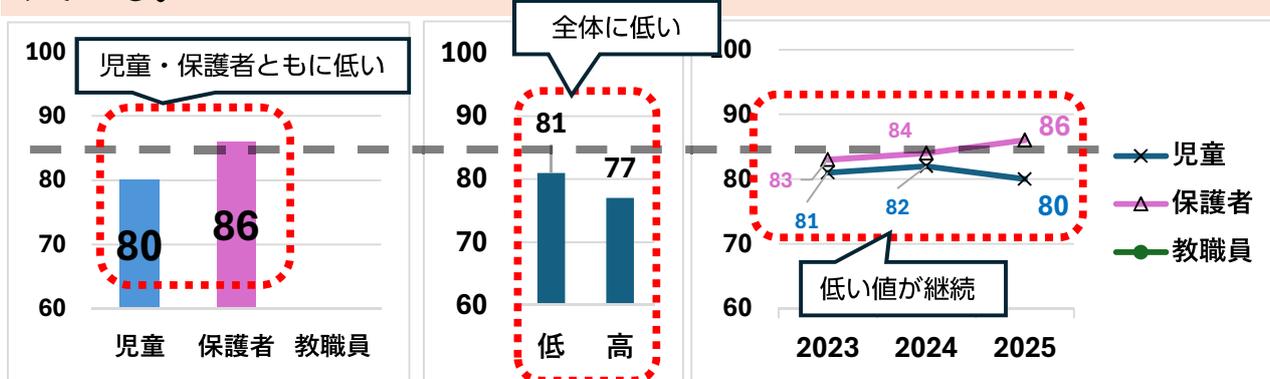
・普段の遊びで「運動」を選択する子が少ないのでは。■体育で色々な運動を体験させることも必要。■運動の楽しさを知るために少しハードルを下げて体育の授業を行うことも必要。■親子で運動に楽しめるような取組み。（例：親子レクで「バルシューレ」などの出前講座を行う。）

《 その他（地域参画・情報モラル・キャリア教育） 》

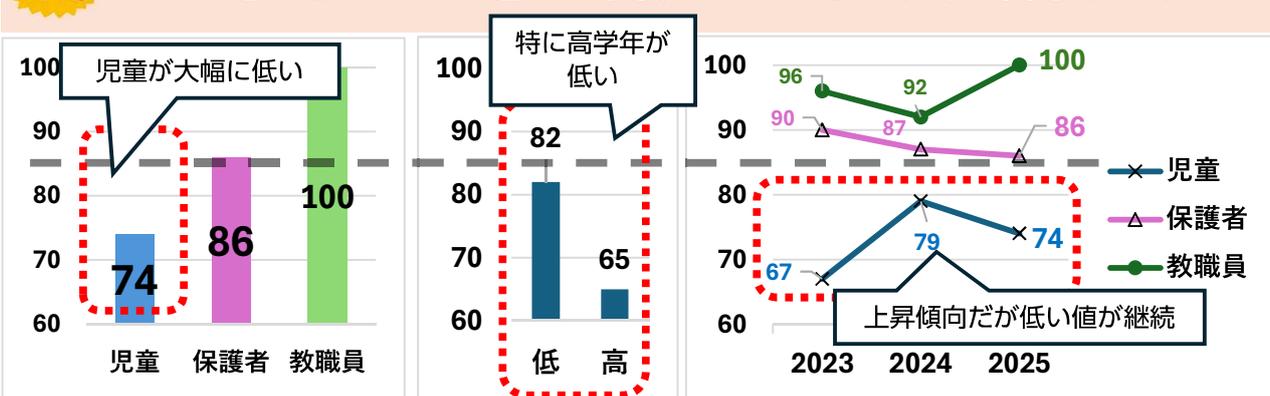
課題(15) しょう来の夢や、やりたいことがある。



課題(16) 家では、ゲームやインターネットの使い方についてルールを決めている。



課題(17) 地いきのことや近くの学校のことにきょう味・関心がある。

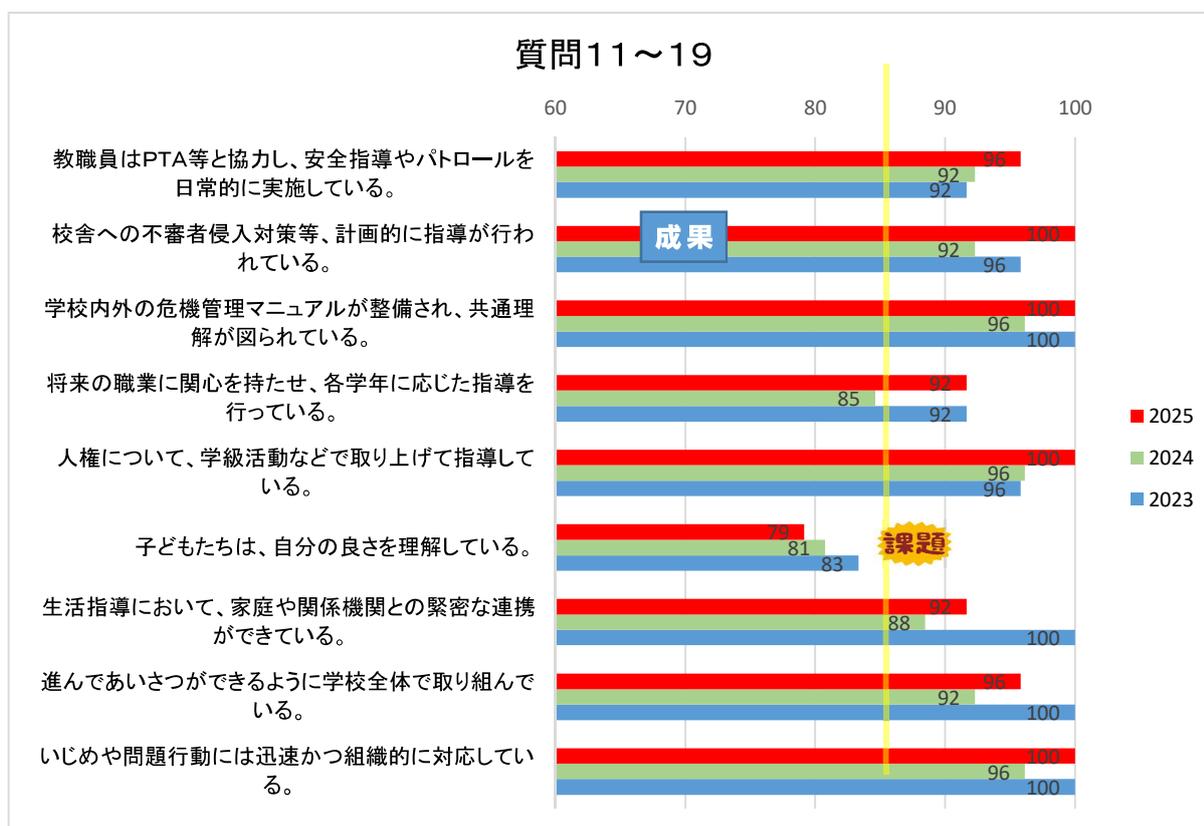
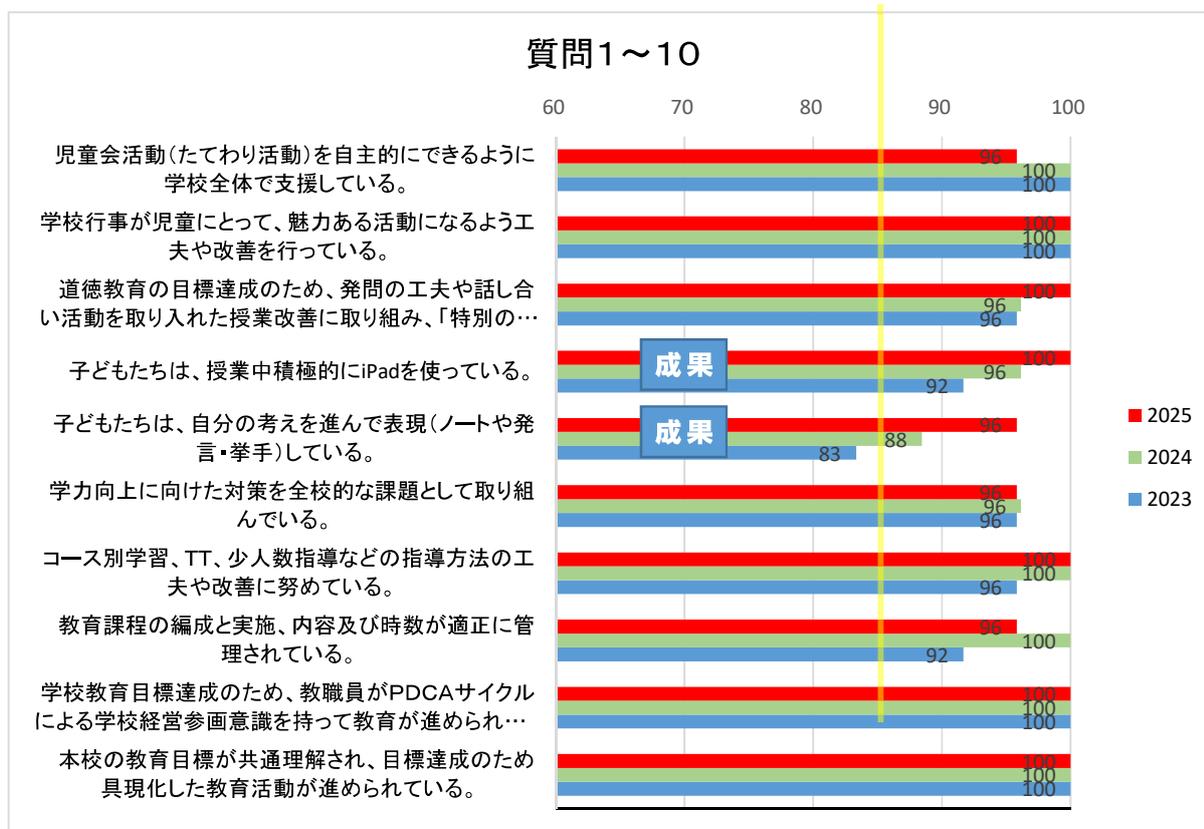


●分析

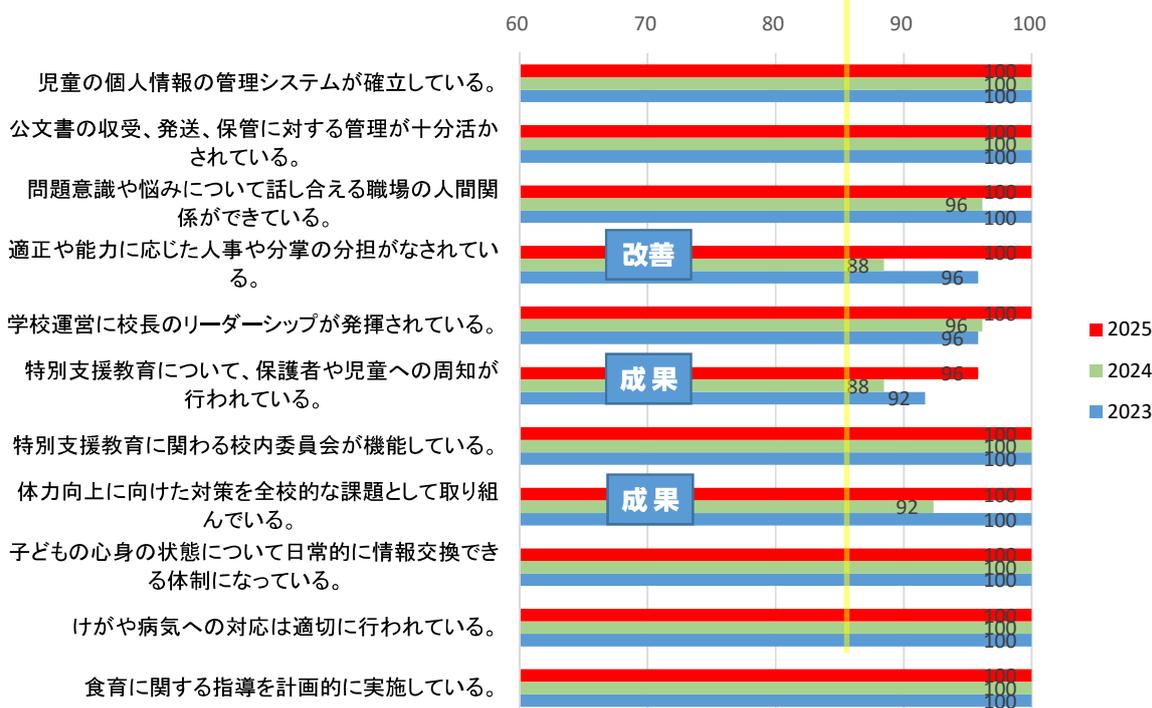
(児) ▶ 「情報モラル」と「地域参画」の項目で指標(85%)に達せず「地域参画」の項目は特に高学年の値が低い。
 (保) ▶ 「地域との協力」の評価が高く、地域と連携した教育活動が一定程度評価されていると考えられるが、低下傾向にあることに留意する必要がある。▶ 「情報モラル」については上昇傾向にあり、参観日等での親子教室の実施、一日入学や参観日等でのSNSトラブルに関する注意喚起や話題提供などが、効を奏していると考えられる。

04 職員用

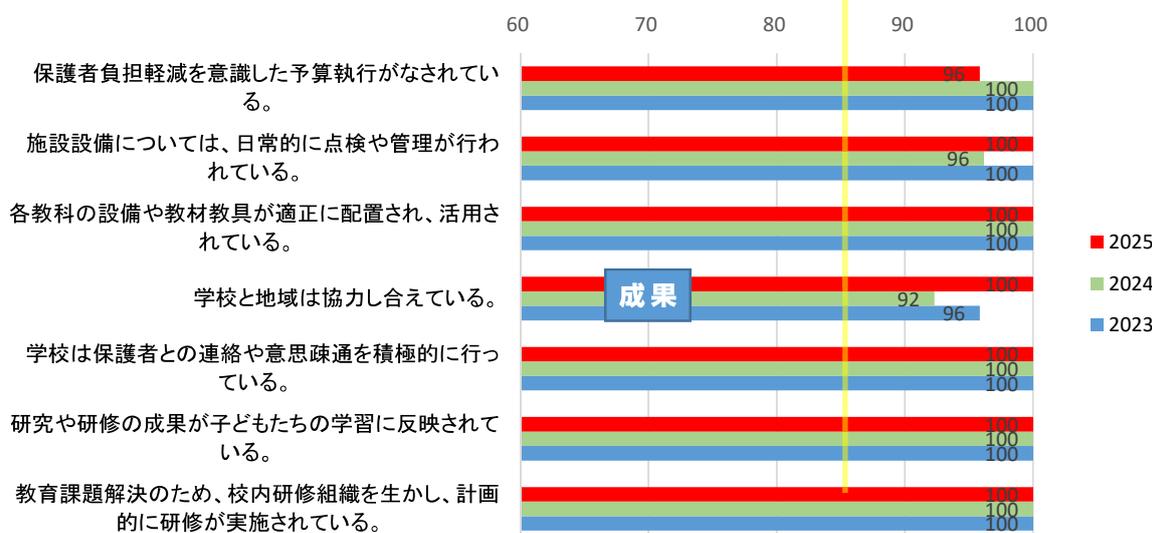
教職員アンケート 結果と分析・考察 2023 2024 2025



質問20～30



質問31～37



▲自己肯定感:肯定的回答が低下傾向にあり、自己肯定感の育成に課題を感じていると考えられる。今後の取組を検討する必要がある。(児童・保護者も低い値となっている。)

◎iPadの活用:積極的な活用が進んでいる。今後は、授業の目標や目的にあった「効果的な活用」がされているかなど、ただ使うのではなく、教育効果を踏まえた活用が図られるように、さらに授業改善と研修を進めていく必要がある。

◎発表・発言:教師主導の一斉授業ではなく、子どもの主体的な学びを土台とした個別最適な学びと協働的な学びが一体的に構成される授業へと転換が進んでいる証左と考えられるが、児童・保護者の値が低いことに留意する必要がある。

◎不審者対策:危機管理マニュアルの整備や安全、安心な学校づくりが進んでいるためと評価できる。今後も、校外学習時の玄関施設錠や適切な訓練の実施など、リスクマネジメントとクライシスマネジメントの両面からの安全確保が重要である。

◎人事配置:学年と分掌のバランスや家庭や個人の状況等を踏まえた人事配置が評価されていると考える。今後も、分掌のグループ制や副担当制など、個人の資質能力に依存しない、チームで取り組む体制づくりが大切である。

◎特別支援教育:特別支援教育に関するおたよりの発行や、学校だよりと入学説明会での紹介などが評価されているほか、生活部や登校支援係と連携した、一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな合理的配慮の取組が評価されていると考える。

◎体力向上:体育科の授業や行事、特設の活動のみならず、教員が積極的に児童の運動遊び(ボール運動・おにあそび・鉄棒)の輪に参加するなど、日常的に子どもと一緒に運動し、運動を楽しむ取組を進めた成果と考えられる。

◎地域連携:積極的、挑戦的に地域と連携した教育活動や中学校区における教育課程の連携と接続に努めた成果と捉えられるが、児童と保護者の値は低いことに留意する必要がある。

R07_2025年度

学校評価アンケート「保護者自由記述の全文」(A | 分類済)

※原文のまま

A: 改善の検討を要すると思われる提案・要望等

B: 留意・参考にした方がよいと思われる要望・意見等

C: 肯定的な意見・感謝等

▶ 子どもたちは、自分の考えを進んで表現（ノートや発言・挙手）している。

【1 発言しづらさ・緊張に関する意見】

- 家では自分の考えを言えるが学校では難しいようです。
- 1人だけ注目されることに対して緊張するかもしれません。大勢の前で1人だけで注目されると緊張するかもしれません。
- 自分的には少なめな発言しかできていない様だ。
- 恥ずかしくていえない。
- 間違えることを気にしすぎている児童がいると感じたので、いろいろな意見があることを学んでいけると良いと思う。

【2 発言ができていいる・積極性に関する意見】

- 一生懸命頑張って作ったのがいつも伝わってきます。
- 自分で考える力や発言、行動が出来るようになった。
- 思っていることがちゃんと言えているから。
- 参観日の際挙手して発言していました。
- 参観日で挙手して自分の意見を発表出来ていたから。
- 参観日などで、そう感じました。
- 参観日の時に積極的に手を挙げている子が多いです。
- 参観授業で iPad を使用しながら発言が活発的だったのが印象的でした。
- 参観日では大多数の子ども達が積極的に取り組んでいると感じました。

【3 発言の様子が控えめ・偏りに関する意見】

- 書き物系は頑張っています。授業中に挙手、発言は控えめかもしれません。
- 決まった生徒が手をあげている印象。
- 授業参観日で思いました。

【4 子どもの意欲・学習姿勢に関する意見】

- 自分の興味があることには、意欲的な姿勢が見れます。わからないことを、わからないままにしようともあります。
- 工夫していると思います。
- してないように見える。
- ノートなどを確認。

【5 教員の姿勢に関する意見】

- 担任が子どもの話を聞く姿勢を持っていないように感じられる。

【6 特に理由なし・子どもの自己申告に基づく意見】

- 特に理由はありません。
- 本人たちがしていると言っているの、それを信じて。

▶ 子どもたちが、授業中に積極的に iPad を使っている。

【1 日常の使用状況が「分からない・知らない」】

- 知りません。
- 授業中はわからない。
- 授業中のことは知りません。
- よくわからないので。
- 知らない。
- 授業中のことは分かりませんが、本人は使っているとの事です。

【2 使用頻度・使用状況に関する情報（子ども・保護者からの聞き取り含む）】

- iPad をつかって授業を受けているのは聞いていて、最近使っていないようです。
- 何回も使っているそうです。
- たまに使う。

- 使っている。
- iPad が身近にある時代、ノートを書くより楽しんで使用しているイメージです。
- 使い過ぎだと思う。
- 授業参観日で思いました。日頃子供から話も聞いています。

【3 参観日での使用の様子に基づく意見】

- iPad を使いこなしていてびっくりします。参観日の時、画面と目が近くなっていたので視力の低下が心配です。
- 参観日で iPad を利用して授業を受けられていたから。
- 参観日で拝見させていただいた時は、**上手に取り入れてる**など感じました。
- 参観日に見ているとよく使っている様子が見られます。
- 参観日など。

【4 iPad・ミライシードの活用を肯定的に捉える意見】

- ミライシードをよく使っている。
- iPad を使いこなしていてびっくりします。
- iPad の使いこなしは親以上かと。
- iPad を上手に手慣れた感じで使用していると思います。
- 使いこなしている児童が多く、毎日の積み重ねが身についていると思う。
- **iPad で同じ内容を見ながら、意見交換している姿**が印象的です。
- すごいと思います。
- Wi-Fi を繋いだり普通にできていて、現代を生きていけそう。
- 大人顔負けで使えていると思います。

▶ 子どもたちは、家庭で学習する習慣を身につけている。

【1 自発的に取り組めていない・声掛けが必要】

- 言ってもなかなかやらず、後でが多いと思います。
- 宿題やりなと言わない限りなかなか自ら進んで取り組まないと。自主学習は、全然やらないです。
- 親に言われてやる。
- 宿題などもギリギリになるまでやらない。もしくは声掛けをしないと忘れてる。
- 言わなきゃやらない。
- 積極的さは感じないと思われま。
- 時々進んでしますがほとんど声掛けしてやっとする感じが多いです。
- 自発的では無いが、声をかけて学習するようにさせている。
- 進んでやらない。
- 言わないとやらない。
- 家にいるとやりたくないとかわがままになりやすい。
- 言われてからやるが自分から進んではいけない。
- こちらから確認しないと忘れがちです。
- 慌てて忘れてたとしてるが、していると思う。

【2 習慣は未定着・まだ十分ではない】

- 自学ノートはあまり活用していませんが、主にドリルを使って勉強しています。こちらが促さないと取り組まない日もありますが、入学1カ月から比べると勉強する習慣は身につけてきていると思います。
 - うちの子はあまりできていません。すみません。
 - 宿題や自学ノート1日何ページ行うなど指示があればやっている。習慣と言えるまでにはなっていないと思う。個人差がかなりあるように感じる。
 - 勉強する環境、習慣ができていない家とそうではない家とあると思います。
 - 外で元気に遊んだ日は力尽きて寝てしまうことありますが概ね言われずとも自学しています。
 - 習慣と言えるほどではないのかな、と感じます。
-

【3 自発的に取り組んでいる・習慣化している】

- ちゃんと習慣化されている。
- 勉強する時間を自分で決めて学習できていると思います。
- 毎日少しで良いからとりくんでいる。
- 自学はしっかり続けている。
- 帰ってすぐやります。
- 宿題や自学の最低限は出来ている。
- 帰宅後に自学ノートに取り組むことが習慣化されている。
- 毎日習い事がある日でも頑張っている。
- 自主的に毎日の宿題と自学に取り組んでいるため。
- ほぼ毎日しています。
- 自学は習慣化されていますが、自学だけやれば良いという習慣もできてしまいました。
- 言われるまで忘れていたことありますが、嫌々やっていることはあまりなさそうにみえました。
- 親が言わないとしないことがあります。概ね頑張っています。

【4 家庭の事情・生活リズムによる制約】

- 一年生の頃から学童で宿題などを済ませてきたためか、家での習慣はあまりありません。学童に行かなかったときや、休日の宿題のみ家で行なっています。
- 息子の場合は勉強時間を設ければ、またはこちらが声掛けをすれば集中して取り組むが、自分から積極的にというのはいくつかありません。
- 家庭学習は週末に取り組んでいます。平日はデイで、持参しているドリルなどに取り組ませてくださっています。
- 習い事がある日は帰りが20時を過ぎる日もあるので、それからご飯、お風呂となると家庭学習まで辿り着けません。
- 児童館で宿題をして満足しており、自宅では勉強したくない。
- 無理にはさせないから。

【5 学習内容に関する意見・その他】

- 嫌がりながらも、やっている。が、自分で考えてノートに書くことが出来ない。
- テストが近くなると頑張る傾向にはありますが、自分で勉強を見つけるの良いと思う。長文問題などはなかなか取り組めないの、宿題もたまに出してくれるとありがたいです。
- 夏休みの宿題ドリルをデジタルにしたことに賛成ですが、児童館にはWi-Fiがなく、児童館で夏休みの宿題ができませんでした。児童館でもデジタル学習ができるように、学校から市に児童館にもWi-Fi環境を整備するように要望してほしいです。
- 普通の学習以外にも、計算問題や時計の読み方など、遊びながら学習している事もあります。

▶ 先生たちは、分かりやすい授業に努めている。

【1 わかりにくい・理解しづらいという意見】

- わかりにくいようです。
- わかりません。
- わかりにくいと、言っている。
- 理科の授業、黒板に書いてくれないのでわかりにくいと言っています。去年まで理科が好きと言っていましたが、今は苦手意識があるようです。
- 算数少人数授業、クラスごとで先生の指導力に差があるときいています。その為とても良く理解出来ている分野と、何かわからないまま終わってしまう分野があります。もっと細かく能力別でのクラス分けを望みます。

【2 わかりやすい・理解できているという意見】

- 全体的に、授業はわかる。
- とてもわかりやすい。
- 黒板だけでなくプリントやiPadを併用してわかりやすく授業してくれていると思います。
- 子どもの様子に合わせて、いつもわかりやすく楽しく学べるように工夫して下さっていて本当に感謝しています。子どもも楽しく学んでいて、着実に成長しているように思います。

- とてもわかりやすい。分からない部分は優しく教えてくれる。
- 子供はわかりやすいと満足しています。
- 子どもが理解できているため。
- 私が授業を受けている時と比べるとそう思います。
- 家での自学など学習が不十分と感じるが、テストの結果がそれほど悪くないため、**授業がわかりやすいんだと思う**。
- 教科書と板書だけでなく、映像や画像などでも説明されて昔に比べてわかりやすいと思いました。
- **ノートに教科書の内容を補足するプリントが貼ってあり、わかりやすいなと感じたから**。

【3 授業の様子がわからない・見ていない】

- 授業をしているところを見たことがないので、どんな授業をしているのかわかりません。
- 授業中のことは知りません。
- 知らない。

【4 授業参観での印象・子どもの話からの評価】

- 子供からの話を聞くと、先生は面白い感じで楽しく授業に参加できているようです。
- **3人の先生の毎日の努力のお陰で、5年生の時より集中して授業を受けている子が増えたように感じます**。静かな参観日を久しぶりに見ました。
- 参観日での**授業はみんな楽しそうに参加している**と思いました。
- 参観日でもみていて。
- 子供はわかりやすいと満足しています。
- 算数はクラスを分けて**分からない子をそのままにせず、進んでいる子は先に進めてすごい**と思っています。全然わからないまま進んでしまったということがあまりないと感じています。ありがとうございます。
- 参観日はなかなかいけないのですが、**たくさん工夫をして授業を作っていたら**なあと感謝です。

【5 指導方法への肯定的評価・感謝】

- 担任の先生初め**先生達皆優しく教えてくれる**と言っています。
- **話し方が丁寧**である。
- **細かい事も教えてくれる**。
- **考えてくれている**と思います。
- 大人の感じ方と違うので、子供自身が疑問に思ったり理解できてないことは保護者が対応すべきだと思うので、特に意見はありません。

【6 要望・改善してほしい点】

- 児童それぞれにあった教え方はあると思うけど、苦手な勉強をできるようにするには先生の力も必要だと思う。
- 「全員が理解できるように」が難しいことは重々承知の上ですが、少し言い回しを変えたらもう少し伝わるかな？と思ったことがありました。

【7 学習成果からの判断】

- テストの点数が取れているので、問題ないかと思われる。

▶ 子どもたちは、自分の良さを理解している。

① **自分の良さを理解している・肯定的に捉えている**

- よく自分で優しいから～と言っています。
- きっと理解してると思います。
- 笑顔で気持ちよい挨拶ができる事を自分で理解し場を和ませている。
- 自信のないところもあるみたいですが、良いところもわかっています。
- 表現できている。
- ちょっと地震なさそうでしたが、考え方はしっかりしてネガティブや自己肯定感低い感じは薄いです。
- 子供達はお互いの自分の良さをわかり理解出来ていると思います。

- ・ネガティブよりもポジティブに。いいところを見つけて伸ばそうとしている。
- ・自宅で叱ることがあるが、自分の良いところを言って誤魔化そうとするので、わかっているんだと思う。
- ・理解している方だと思います。
- ・君のいいところだねというと、素直にうん！と返事したり、「でしょ！」と自慢げに返事をします。
- ・少なくとも子供や子供と仲のいいお友達はそうかなと感じます。

② 自己肯定感が低い・否定的になりがち

- ・自己肯定感が低く、自分なんてという思いを抱えている。
- ・自分は頭が悪いとかマラソンも全然ダメだったと否定的になる。

③ 自分と向き合えていない・課題を感じる

- ・まだまだ、自分と向き合っていないなさそうです。
- ・得意不得意を自覚しつつも、それでよしとしている子が多いような？受け入れることはいいことですが、努力しようとしなくて、これも時代でしょうか。

④ 他者との関わりの中で良さを発揮している

- ・助け合って学校生活を過ごせるようになってきたなと感じるので。
- ・好きなことは進んで勉強している。
- ・授業でわからない子がいたら、優しく教えてあげることができる。いじめられている子がいたら、助けてあげることができる。

⑤ 家庭での様子・親から見た良さや課題

- ・親の欲目で人に優しい子だと思っているが、本人の押し付けもたまに見えるので、もっと色々な人と交流して、人それぞれに感じ方が違うことを学んでほしい。

⑥ 学校の発信・環境に対する意見

- ・クラスの問題の多いお便りを見ていると、向上心がなくなるマイナスな文章が多く、学校側から自己肯定感を下げる言葉かけが多いと思う。

⑦ 不明・判断できない

- ・わからない。

▶ 子どもたちは、相手の気持ちを考えて行動している。

① 相手の気持ちを考えられる／思いやりが見られる

- ・少し見えているんじゃないかなと思います。一点に集中してしまうと、周りに気づけない時もあります。
- ・困っている人がいれば、声をかけたり寄り添ったりしてる。
- ・自分がされて嫌なことはしないなど困っている子がいたら寄り添う気持ちを大切にしています。
- ・ある程度相手の気持ちを考えれてると思います。
- ・時々友達とのやりとりで、相手を思ってこうしたという発言があるので、多少は相手を思いやって行動していると感じる。
- ・お友達を助けた話をしてくれました。

② 相手の気持ちを考えられないことがある・課題がある

- ・相手の気持ちを考えられる時と考えられない時があります。考えられない時の方が多いかもしれません。
- ・自分優先で行動していると思う。
- ・言葉遣いだったり、激しめなスキンシップだったりがあって良い悪いの判断ができない子がちらほらいるのかなという印象です。息子にも相手が嫌がることはしないっていうのを日々伝えていて、**相手を思いやる気持ちは勉強よりも大事にしてほしい**と考えています。
- ・どうしても自分の気持ちを優先してしまうところがある。
- ・悪口や馬鹿にするような表現が散見される。
- ・自分の一つ一つの発言、行動を大切に**してほしいな**。と思う時があります。自分の発言や行動で周りにどのような影響を与えるのか、難しいかもしれませんが少しずつでも考えていけるようになれば良いなと思います。

- ・我が子は相手の気持ちを考えて行動することはまだまだ課題がありますが、周りのお友達の優しさや関わりの中で学んでくれると良いなと思っています。
- ・まだ自分本位も多いと思う。
- ・まだまだ未熟なところです。
- ・小学生だからなのか、時代のせいなのか、自分が良ければいいという子が多いような気がします。

③ 自己中心的・自分優先と感じる

(※②と重なるが、より「自己中」傾向を明確に記述した意見を抽出)

- ・自己中。
- ・自分優先で行動していると思う。(※重複だが適切カテゴリなので両方に入れず③はこちらに含めてもよい)
- ・どうしても自分の気持ちを優先してしまうところがある。(※同上)

④ 周囲の友達の優しさ・良好な関係の指摘

- ・争いがあまり無い。
- ・周りの子どもたちがとても優しく我が子に接してくださっています。
- ・周りのお友達が優しくしてくれていると聞いています。いつもありがとうございます。
- ・気持ちは考えているけど言葉にしてしまうのは仕方ないと思う。悪いところばかりに気になっているのは先生たちではないでしょうか。

⑤ コミュニケーションの難しさ・関係性の課題

- ・相手の気持ちや状況を常に考えていますし、大人との会話はスムーズですが、子供同士だと、共感できかねる相手とのコミュニケーションや自己と他者の分離がまだ難しいのかなと思います。(私は親切にしてるのに、どうして相手は親切にしてくれないの・・・など)
- ・相手に気持ちを考えすぎるあまり、関わらないようにする傾向があるかと思います。
- ・親や兄弟、祖父母など長く一緒に過ごしている人には行動できる。いい意味も悪い意味も含めてですが。
- ・考え過ぎなくらい考えて悩む時あるが、次の日にはすぐ切り替えるのでよくわからなくなる。

⑥ 家庭でのしつけや環境に関する意見

- ・それぞれの家庭ですべきしつけが不十分であることが要員ではないかと思います。学校としての指導は十分だと思います。

⑦ わからない・推測の域

- ・そう思います。
- ・話を聞く限り。

▶子どもたちは、進んであいさつしている。

① 挨拶が「できている」「積極的である」

- ・学校以外にも、近所の人にも積極的に挨拶はしています。
- ・進んで挨拶をする様にしている。
- ・顔見知りではない高学年の子でも積極的に挨拶ができていて、低学年の頃からの指導が身につけているように思う。低学年、中学年などは照れが見えるが、挨拶のできる高学年を見習って挨拶できているように見える。
- ・友達や先生にもしている。
- ・見知らぬ子にも校内で挨拶されました。
- ・自分から挨拶出来ています。
- ・通っている少年団では、挨拶出来ている。
- ・高学年になり、きちんと立ち止まって挨拶してくれる児童を見かけました。とても素晴らしいです。
- ・校外でも挨拶してくれる姿が見られるので。
- ・どこにいても元気な挨拶をしています。
- ・朝会った時、挨拶してくれる子もいるため。
- ・学校に行くと気持ちの良い挨拶をしてくれる子が多いです。

② 挨拶できるが「状況・相手によって変わる」

- ・相手から発信が多いです。
- ・挨拶されるとしますが、自ら挨拶は、親しい人や置かれた状況によって変わります。
- ・学校では進んであいさつしているようですが、学校外では少し積極性に欠けるかと思えます。

③ 挨拶はしているが「声が小さい」などの課題あり

- ・声は小さいです。

④ 挨拶があまりできていない・課題がある

- ・家でもあいさつはおやすみだけです。
- ・昨年までは高学年を中心に知らない保護者に対しても挨拶してくれる印象でしたが、そう言われると・・・今年は無いかもしれません。
- ・全然しない。
- ・我が子たちあいさつ課題です。

⑤ 学校の取組・教師の働きかけに関する意見

- ・校門などで先生方が挨拶してくれることで、子どもも挨拶する習慣ができてきていると思う。
- ・朝先生達が玄関に立って率先して挨拶してくれるのでらが子も挨拶出来るようになってきました。ありがとうございます。

⑥ 家庭でのしつけ・指導についての意見

- ・おはよう、ありがとう、ごめんなさい、おやすみなど最低限のコミュニケーションはとるよう教えているし、これからも教えていく。
- ・そうしつけてる。

⑦ 判断保留・肯定の一般的意見

- ・そう思います。

▶子どもたちは、きまりや約束を守ろうとしている。

① 「守ろうとしている」「基本的には守っている」

- ・頑張ってるように守ろうとしています。
- ・こころがけてはいるようだ。
- ・約束事は守るようにしています。
- ・学校など集団生活では守ろうとしている（と思う）が、家では口だけのところは多々見られる。
- ・楽しくなりすぎると約束を忘れがちですが、基本的には守っている。
- ・守ろうとはしているが、集中し過ぎると約束を忘れがち。
- ・クラスの中でみんなで助け合っている姿がそうだと思います。
- ・何かに夢中になると、つい時間を忘れてたりするので時計を見る癖やアラームなどを活用して慣れさせたい。

② 「守れない・忘れがち」「自分優先になりがち」

- ・約束を守ってほしいのですが難しい時があります。
- ・自分の感情をコントロール出来ていないことが多い。
- ・まだ守れる時と守れない時があります。
- ・周りのテンションに流されることもあるようです。
- ・全然守らない。
- ・頑張ろうとしているのはわかります。しかし、まだまだです。
- ・きまりや約束より自分の気持ちが優先されていることが多いかなと感じます。

③ 「状況に応じて守れたり守れなかったり」

- ・守ろうとはしているが、集中し過ぎると約束を忘れがち。
(※上にも分類済。重複記載せずそのまま)

④ 「家庭での様子・家庭内とのギャップ」

- ・学校など集団生活では守ろうとしている（と思う）が、家では口だけのところは多々見られる。

- ・破るとどうなるか教えているから。
- ・比較的高価なものであっても、特に理由なくプレゼントしている様子があると聞いた。

⑤ 「環境・社会的背景への意見や考え」

- ・これだけの情報が溢れている世の中で、子供たちはがんばっていると思う。守ることは大切ですが、大人も守れていないので。
- ・そう思います。

⑥ 「登下校・生活面のルールに関する具体的指摘」

・登下校中の様子でしか判断できませんが、例えば冬だと雪玉を作って投げ合いっこしながら歩いていたり、雪山に登ったりと場所によって事故に繋がることもあるので気をつけてほしいなと思っています。また自転車に乗る時のマナーなど中学生以降も意識して守れるように、小学生のうちに定期的に学びの場を設けてほしいです。

・水筒の中身が「水のみ」というきまりについての意見です。スポーツドリンクがダメなのはわかりますが（糖分などの関係？）、お茶は入れてきても良いことにしてほしいです。水を飲めないわけではないのですが、普段から麦茶を飲むことがおいしいので、「水のみ」だとほとんど飲んできません。これから感染症なども流行すると思なので、できればこまめに水分を摂ってもらいたいので、見直しをお願いしたいです。

▶子どもたちは、体を動かす遊びや、運動を楽しんでいる。

【1 運動や体を動かすことが好き・楽しんでいる】

- ・体を使う遊びや運動は好きなので楽しんでいると思います。
- ・保育園の時から、体を動かして遊んでいたので体育や自由時間は楽しく走ったりして遊んでいるみたいです。
- ・体育は苦手ですが運動は楽しんでいます。
- ・運動や体育で出来ないことがあっても楽しんでいます。
- ・外でよく遊んでいる。
- ・習い事のスポーツ（個人競技）は楽しく続けていますが、同じ運動でも学校の体育はすごく嫌いとおぼしています。チーム戦や、みんなの前で発表することが苦手なようです。そこが学校の体育の目的でもあるかと思うので、仕方のないことですが気持ちはわかります・・・。
- ・運動会やマラソン記録会、いきいき一生懸命がんばる子どもたちの姿に感動しました。
- ・うちの子は勉強よりも体を動かす方が好きな様子。
- ・少年団で週4～5回運動しており、休みの日は公園で友達と遊んでいる。
- ・放課後や休日に校庭でサッカーをしても良いと聞きました。公演でも規制がある中、大変ありがたいです。
- ・そう思います。
- ・運動会でリレーを復活させてほしいです。得意なことを伸ばし、リレー選手に選ばれて自己肯定感を向上させている子どももいます。
- ・公園に良く行く。サッカーを楽しんでいる。
- ・全校でゲームをしたりする機会があるのはいい事だと思います。帰宅後、外遊びをする姿が多いので。
- ・休み時間に走り回った話をしてくれます。ケガもしてくるのでそこは心配ですが・・・。
- ・外遊びが好き。
- ・帰宅後遊んでいる。
- ・自転車で家の周りを走っています。
- ・たまに学校に行くと休み時間にたくさんの子供たちが遊んでいるのを見ます。ダブルダッチ等の活動もあり充実した時間を過ごしていると思います。

【2 運動は好きだが一部苦手・好みが分かれる】

- ・楽しいけど基本絵を描いたりする方が好き。
- ・高学年になると、公園に集まってゲームをしている様子です。力も強くなってきたのもあり、なかなか思いっきり遊ぶのも難しいとは思っています。
- ・遊びに関しては好きそうだが、授業などで走ったりするのはあまり好きではなさそう。
- ・体を動かすことは好きだが、球技など苦手なことはやりたがらない。

【3 苦手・あまり楽しんでいない】

- 苦手そう。
- DVD 大好き。

▶子どもたちは、健康的で正しい生活習慣を身につけている。 (うがい・手洗い・早寝・早起き・朝ごはんなど)

【1 手洗い・うがいに関する意見】

- うがいや手洗いがなかなかしてくれません。
- 何度も注意しているがしません。
- 手洗いうがいは、見ていないときはしていないと思っています。
- うがい、手洗いが適当になりがち。
- 22～7時の睡眠時間で、朝ごはんは毎日食べて、コロナ流行の時代から手洗いは習慣化している。

【2 睡眠・生活リズムの良好な例】

- 小さい時から変わらず、9時（8時半）には布団に入るようにし朝は7時頃には起床しています。休みの日だから遅く寝て良いよはしてはいてなく、むしろ起きるのが遅いぐらいです。
- 朝は目覚まし時計がなくても6時には起きれます。週末関係なく同じ時間に寝て起きている。
- 気をつけて取り組んでいます。
- 言わなくても行動している。
- 夜更かしやお菓子食べ過ぎなど生活リズムがくずれると鼻血や肌荒れなどわかりやすい症状が強く出やすい体質のため早寝早起きや食生活は、自ら気をつけています。
- 夜更かししてしまう時もありますが生活習慣が乱れていることに気づき生活習慣を直すことができます。
- 夜の寝る時間は過ぎることが多いが、それ以外は概ね規則正しく過ごしている。
- 自分の家庭はできています。
- 我が家の習慣のため、自然と出来ている。
- 出来ていないと困るのは本人たちなので。
- 習慣化されているように感じます。

【3 睡眠リズムの乱れ・課題】

- 日による。出来ている事もあるが、まったく出来ていない事もある。
- 休みの前の日などは遅くまで起きていることが増えました。まだ、注意すると聞いてくれますが、朝ごはんは必ず食べさせます。
- お友達の中には深夜まで起きている子も多く（Switchでオンラインした時刻わかるので）たまにこっそり夜更かししてるっぽいですね。土曜日の夜くらいはいいかなと思っています。
- どうしても寝る時間が遅くなってしまい、朝起きれないことがあります。
- ゲームに時間を取られ過ぎて、早寝は出来ていない。
- 朝は起きれなくて本当に困っている。
- 早寝ができるように心がけているが、布団に入ってから寝付くまでに時間がかかる。

【4 保護者の声かけ・関わり方】

- そう思います。
- 適当にしている。
- 声掛けをすれば行動できる。
- 強制はしていない。

【5 食生活関連】

- 朝ごはんは必ず食べさせます。
 - 朝ごはんは毎日食べて、コロナ流行の時代から手洗いは習慣化している。（※手洗いは1に重複）
 - たまに忙しくて朝ごはんを作れない時があります。
-

▶子どもたちは、安全に留意して遊び、行動してる。

【1 安全意識がある／概ねできている】

- 危ないことはしないと思います。
- 安全意識は働いていると思う。
- 安全に遊んでいます。
- 怪我が少ない。
- 門限も概ね守り、行先も告げて遊びに行くのでその辺はきちんとしてるか。
- できています。危ない時は声をかけ合い安全に遊ぶようにしていました。
- 登下校の様子を見ていると信号をきちんと守り、仲良く歩いている姿はよく見かけます。
- そう思います。
- ビビリなので、あまり無茶しない。
- 怪我もしますが、概ね安全な遊びを心がけていそうです。
- そう言いつけている。
- ケガなどもあまり聞いたことが無いので気をつけているのかなと思います。

【2 まだ不安・注意が必要】

- 出来ているとは思うけど、大丈夫かな？と思うこともあるようだ。
- 都度声掛けをしていく必要はまだあります。
- だいぶ交通ルールは守っていると思うが横断歩道の無い道路を渡る時は走りながら行く様子見もあるんで心配になる。

【3 発展・今後の課題】

- まだ1年生にもあるのか、友達と遊びに行くことは無く、これからなのかな～と感じています。
- 1年生の息子は怪我が多いです。いつもすいません。

【4 情報が不足／判断できない】

- 知らない。

▶学校は、学校便りなどを通して、教育の情報や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。

【1 情報提供・連絡が分かりやすく便利で助かる】

- いつもわかりやすく嬉しいです。
- 毎日学級通信を発行して頂いているので、わかりやすくありがたいです。
- とても分かりやすく助かります。ありがとうございます。
- まめにプリントが配られ拝見しています。
- テトルでプリントが配られるのは助かっています。休んでしまった時の時間割など特に。
- いつもわかりやすく情報提供くださりありがとうございます。行事や学年通信などのテトル配信も便利でありがたいです。先生方の連絡帳や通信から子どもたちの心温まるエピソードやがんばる姿が伝わってきて、いつも楽しみにしています。
- テトルは非常によく活用している。
- 肯定感の手紙が少ないところは疑問ですが、行事、活動などの情報はしっかり発信されていると思う。
- 子供達の様子を知ることが出来るのでいつもお便りを楽しみにしています。先生ありがとうございます。
- お便りがマメ。
- テトルや学級通信、学年通信で様子が伝わるので。
- プリントなどをアプリ配信してくれるので、大変助かる。
- 学年だよりやクラスだよりの内容が分かりやすく毎週楽しみにしています。
- わかりやすいから。
- いつもありがとうございます。
- テトル配信もあり、わかりやすくなりました。

【2 情報提供の差や改善の希望】

知りません。

お便りが以前より格段に少なくなり、用紙がわからない様な感じ。

アプリだとよみづらい。しかし現場でも読み返す事が出来ることは良い。

クラスのお便りは、担任の先生によって頻度やわかりやすさに差があるなと思います。

せっかくテトルがあるのだから、もっと活用して授業風景の動画などもできるのではないかと思います。学級だよりなど文章が打つのが大変だし、紙の消費が気になりますが、毎日の様子が写真などでできていいのではないのでしょうか。授業参観に来られない方や参観日にできない授業の風景などもっと知りたいです。

補足などは、メールで来ている。

カラーなので、より読みやすく写真などもよく見えるのでありがたいです。

家に回覧板で学校の行事とかが回ってくるのですが、それこそ不審者や盗撮がないのか不安に思うこともあります。

子供達の間でトラブルがあり怪我をした場合、怪我をさせた方の保護者には先生方からどのように報告しているのか、気になります。うちは怪我をしてきた側だったので、誰に怪我をさせられたのか、教えてもらうことができましたが、させた側の保護者には相手の子の名前や怪我の程度などを詳しく報告しているのでしょうか？些細なことからいじめにつながることもあるので、怪我をさせたり、傷つける事（悪口など）をしたりした場合は、させた方の保護者にはより細かく報告していただきたいです。うちの子が傷つけた場合も、詳しく教えていただけたら家庭でも叱り、話をしたりなど、対応することができるので。

たまに聞いてみたりはしますがわからないと言っています。

自分と向き合って自立してもらうため。

やりたいこと、目標のために何をすべきか、何を我慢するか、家族で共有しています。初めてやりたいことができ、頑張っています。

大人になったら何になりたい？など何をやってみたいかなどお話しています。

たまに話します。

時々、将来したい仕事や憧れなどないか聞かすが、具体的な夢がないのか返事がない。

具体的な内容ではないが子供から聞かれたり話す内容には耳を傾けています。

定期的に将来何になりたい？などと聞きコミュニケーションをとっている。

本人から話してくるので都度色々な話をするようにしています。

ついこの間は、大きくなったら××になりたいと言っていたのに、少し経つと変わっていることがよくあります。今じゃなく、おいおい将来の夢ができることを願っています。その時は、できる限り、応援をします！

建築関係の仕事や農家さんで働きたいという話はしています。マイクラで家をデザインするのが得意だったり、乗り物が好きなので今はこの2択なのだと思います。

現在はイオンの店員さん。

将来はペットショップを開くと言っています。

全く言わない。

まだこれがいいと言うこともないので。

まだ定まらないようだから。

まだ生きる力も精一杯の中将来のことよりも、身近な行事や目標から始めています。先取りしすぎて、心が育たない方が心配なので。

[Redacted text block]

[Redacted text block]

V 学校関係者評価を受けての改善策等

第一小ミーティングのまとめ

R08_2026_0219

A:できている B:ややできている C:やや不十分 D:不十分

- 各評価項目において、上記A～Dで評価をお願いします。当てはまる箇所に○を付けてください。
○お気づきの点がございましたら、自由記述欄に記入をお願いします。

評価項目	A	B	C	D
1 自己評価結果の内容が適切かどうか。	4			

自由記述

- ・時代の流れでiPadなどを活用してがんばっていると思う。

評価項目	A	B	C	D
2 自己評価の結果を踏まえた今後の方策が適切かどうか。	3	1		

自由記述

- ・AIDドリルなど児童と教職員が使いやすい方法で取り組んでよいと思う。
- ・キャリア教育と地域参画は一体のものとしてとらえ、教育活動を展開すべき。
- ・あいさつの項目について、保護者の数値を上げることが目的ではない。子どもが家でもあいさつできるように仕組みをつくるべき。

評価項目	A	B	C	D
3 学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか。	4			

自由記述

評価項目	A	B	C	D
4 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか。	4			

自由記述

評価項目	A	B	C	D
5 評価結果の集計や分析の仕方、情報公開等が適切に行われているかどうか。	4			

自由記述

- ・85%の指標は高すぎるのではないか。75%を指標としてはどうか。
- ・不登校などの数値も含めて分析し、学校生活に満足しているかどうかを検討してはどうか。